

# カワウの生息状況と 捕獲状況について

Ver.2024.11.7.

特定非営利活動法人バードリサーチ

# カワウの生息状況と捕獲状況の 情報収集について

## ■カワウの生息状況

- 方法：都道府県に依頼してデータ提供を受けた。
- 対象：2024年夏期までカワウの個体数と営巣数のうち、2024年10月までに集計できているデータ。

※北海道のみ、北海道カワウ研究会の渡辺義昭氏が調査されたカワウの営巣数のデータの提供を受けた。

※多くの都道府県は年3回（春期、夏期、冬期）調査を実施しており、広域協議会において調査時期が決められている地方もある。都道府県によっては調査時期が決められておらず年によって異なる場合や、より頻度高く調査している場合がある。その場合、カワウの生活史に合わせ、3-6月に調査された結果を春期、7-10月に調査された結果を夏期、11-2月に調査された結果を冬期として、期間中のねぐら・コロニー毎の最大値を求め使用した。

## ■カワウの捕獲状況

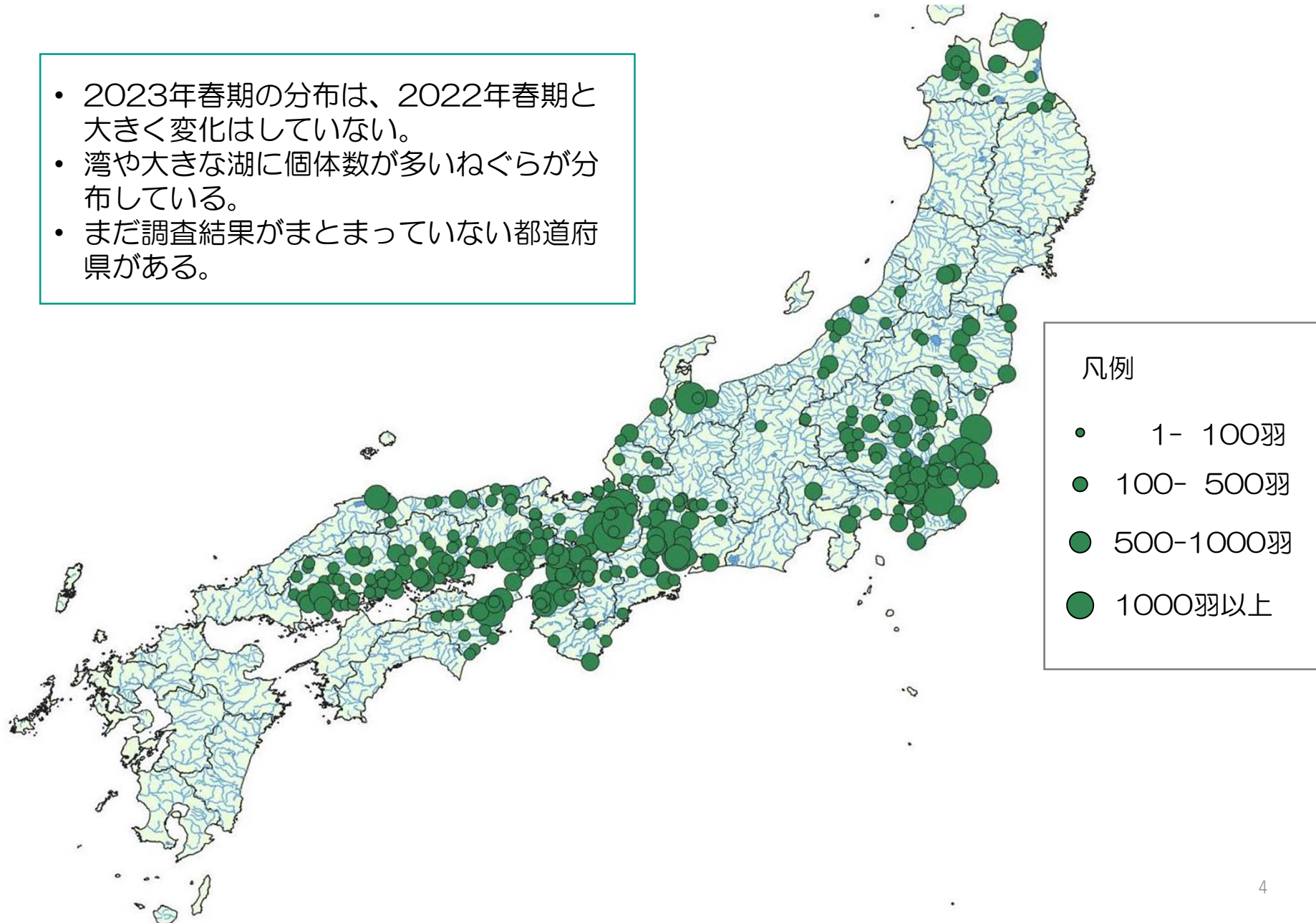
- 方法：都道府県に依頼してデータ提供を受けた。
- 対象：令和5年度のカワウの捕獲個体数（放鳥目的、卵や雛の捕獲は除く）のうち、2024年10月頃までに集計できているデータ。

※年度ごとに集計が行われており、狩猟捕獲個体数は市町村で集計されたものが都道府県に報告されるため、現時点では2022年度の情報の集計が進められている段階である。全都道府県の情報は得られていない。

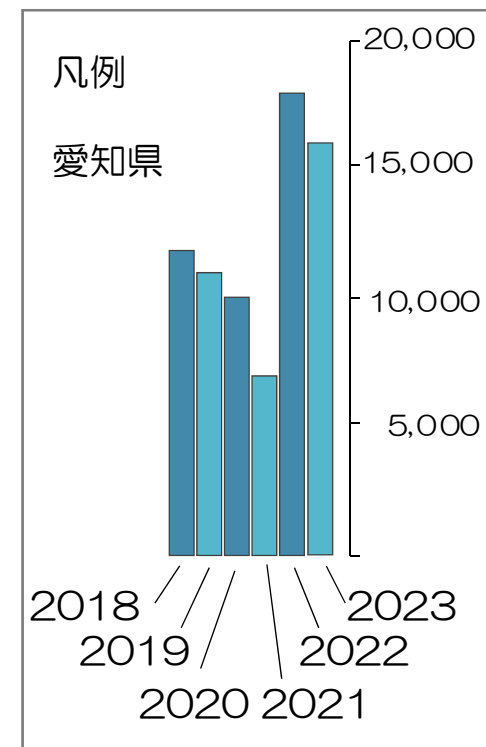
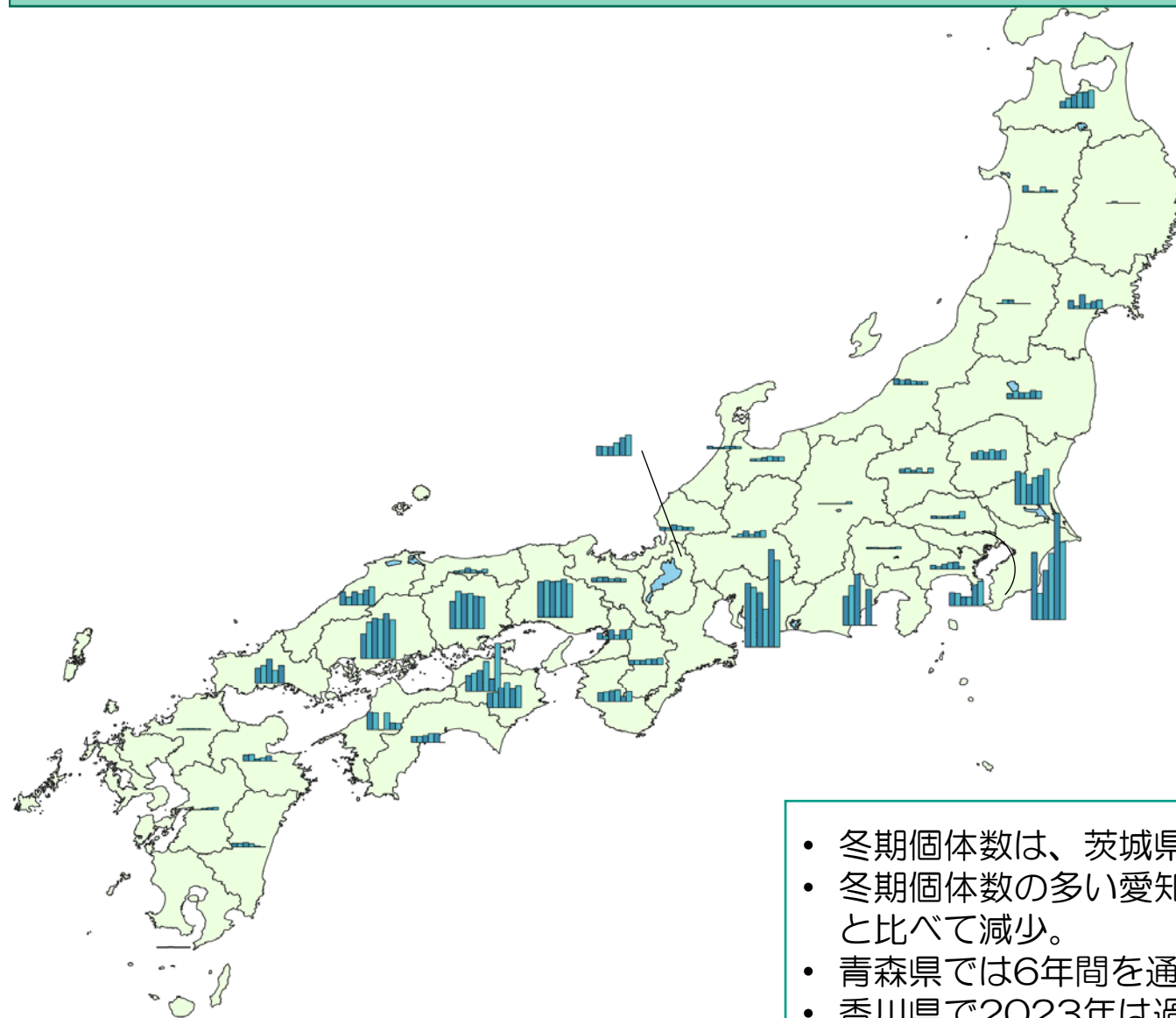
# カワウの生息状況について (個体数・営巣数)

# 2024年春期のカワウのねぐらの分布

- 2023年春期の分布は、2022年春期と大きく変化はしていない。
- 湾や大きな湖に個体数が多いねぐらが分布している。
- まだ調査結果がまとまっていない都道府県がある。



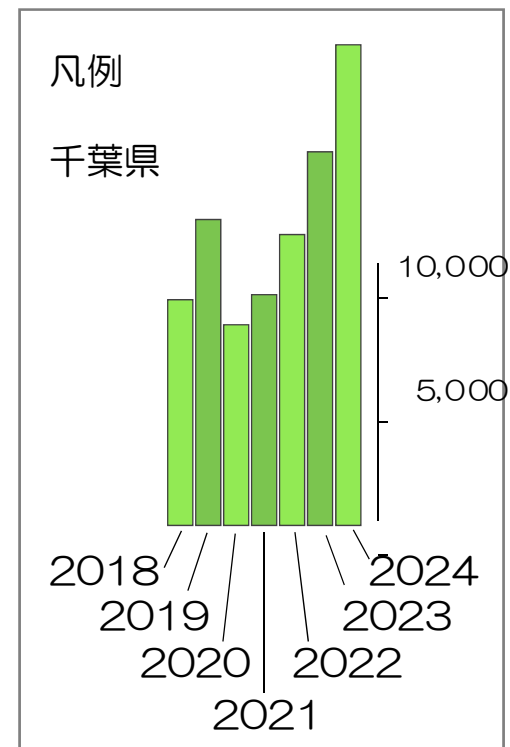
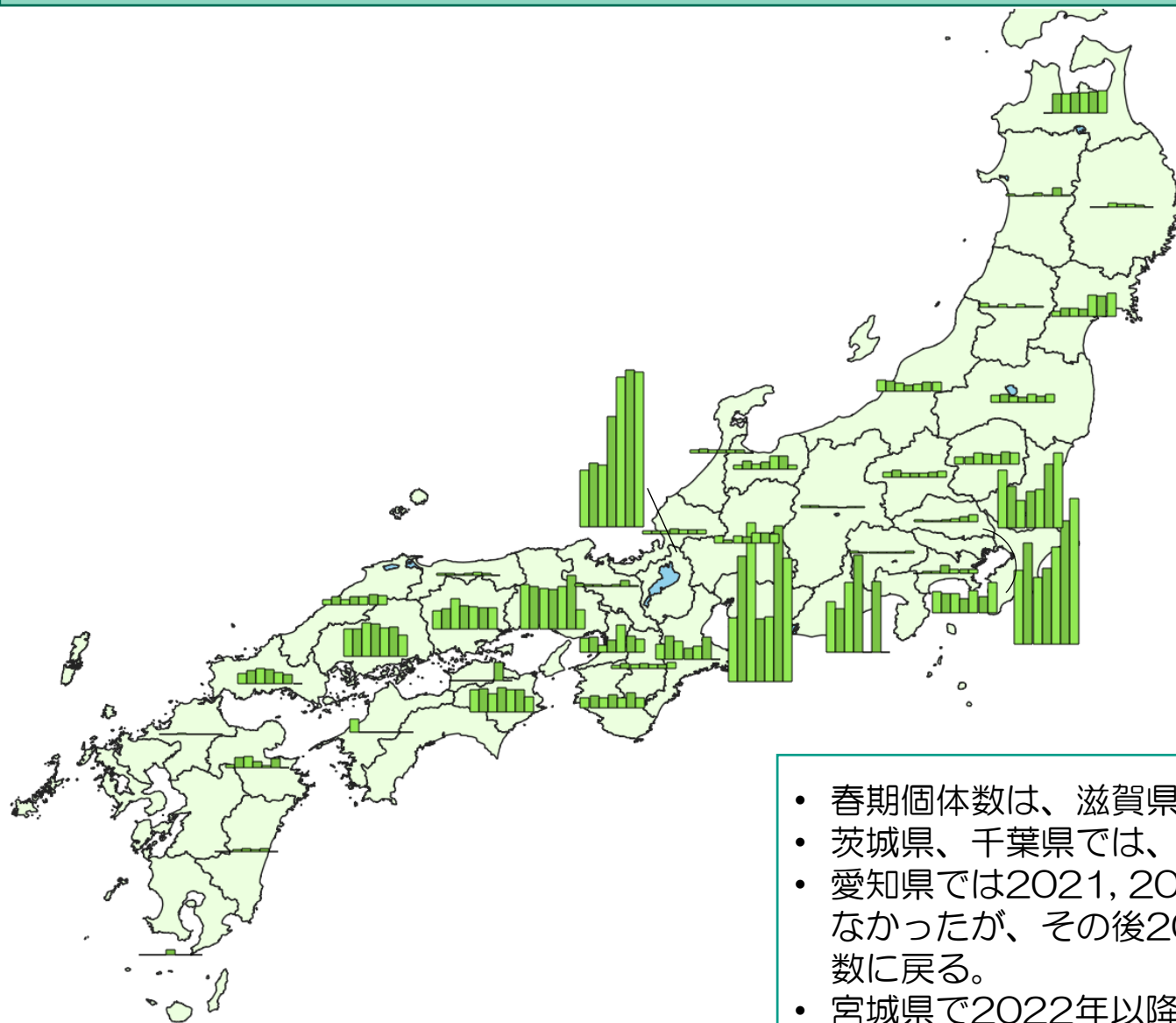
# 2018-2023年冬期のカワウの都道府県別個体数



- 冬期個体数は、茨城県で2020年以降増加が続く。
- 冬期個体数の多い愛知県、千葉県では、2022年と比べて減少。
- 青森県では6年間を通して増加傾向。
- 香川県で2023年は過去最多の個体数。

都道府県ごとの推移をみるため、調査していない年は、前年と翌年の値の平均値を代入している。

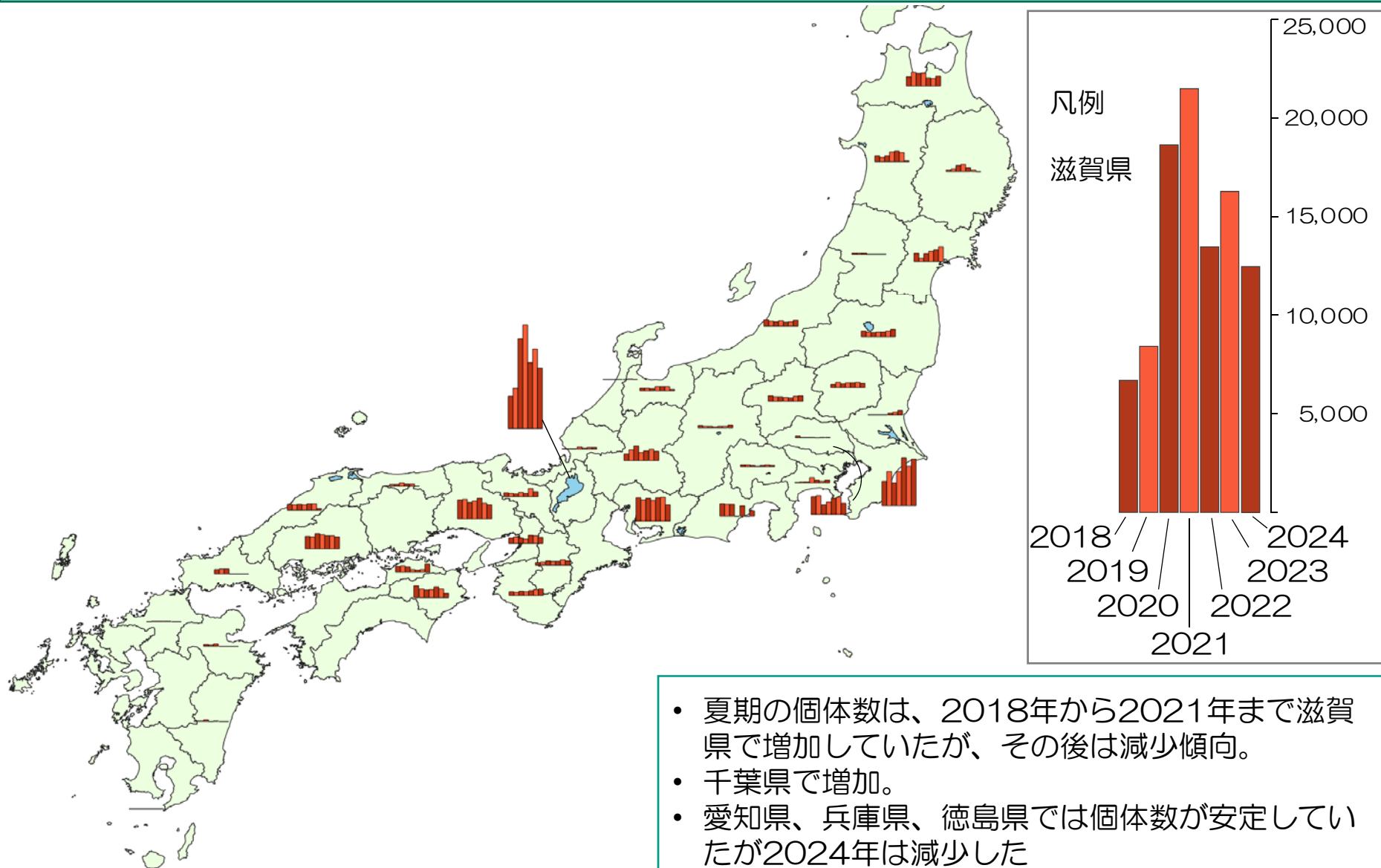
# 2018-2024年春期のカワウの都道府県別個体数



都道府県ごとの推移をみるため、調査していない年は、前年と翌年の値の平均値を代入している。

- 春期個体数は、滋賀県では2022年以降高止まり。
- 茨城県、千葉県では、減少後増加、兵庫県で減少。
- 愛知県では2021, 2022年の2年間は個体数が少なかったが、その後2020年以前と同程度の個体数に戻る。
- 宮城県で2022年以降個体数が増えている
- 近畿地方や中国地方のその他の県では、個体数は多いものの年による変化は小さい。

# 2018-2024年夏期のカワウの都道府県別個体数



都道府県ごとの推移をみるため、調査していない年は、前年と翌年の値の平均値を代入している。

# カワウの個体数の推移

## 未調査時期データの補完方法について

- 個体数の多い県で複数年にわたり調査の継続ができない期間がある。
- 近年も季節によって調査できていない県があるほか、各年での調査になっている県がある。



- ①データの欠落部分を、前後の年の同季節の値を代入  
それでも埋まらない部分は、
- ②全調査期間の同季節の平均値を代入して、未調査時期の個体数を補完することで、未調査期間の影響を小さくする。

神奈川県2016年3月の場合： $(320+51) / 2 = 185.5$

	2012年			2013年			2014年			2015年			2016年			2017年			
	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	
福島県	869	1715	1140	1057	2151	1504	958	1630	1105	845	1899	1521	1099	1692	697	788	1567	757	
茨城県									5095	5250		4217	3949		5463	421		6704	
栃木県	1537	1253	2122	1460	1020	1741	1688	1347	2140	1393	334	2113	1389	353	258	1135	327	1682	
群馬県	583	1358	635	846	1421	956	1054	1399	753	71	1417	89	90	919	764	454	902	470	
埼玉県	1239	1007	950	1000	1351	193	792	1228	577	105	613	665	5	1084	694	422	173	597	
千葉県	7153	7349	6978	6873									7751	7681	8721	9052	6448	7386	
東京都	1234	3559	4180	1452	3142			1849	4580	2228	1731	4083	2714	2000	3126	157	1605	4963	2575
神奈川県	671	928	1601	997	669		318	503	893	320	337	514		228	893	51	163	668	
新潟県	1067	1319	1256	1126		153	1130	1512	1041	1248	1605	1476	1116	2025	1355	1619	1724	1179	
山梨県	364	417	297	347		234	350	423	159	298	372	183	227	377	286	270	383	184	
静岡県	479	605	382	5		672	745	690	682	507	826	817	455	800	365	555			
合計	15193	19510	19541				10870	8914	13312	14678	13418	11986	15570	19483	18865	23403	20161	16950	22202

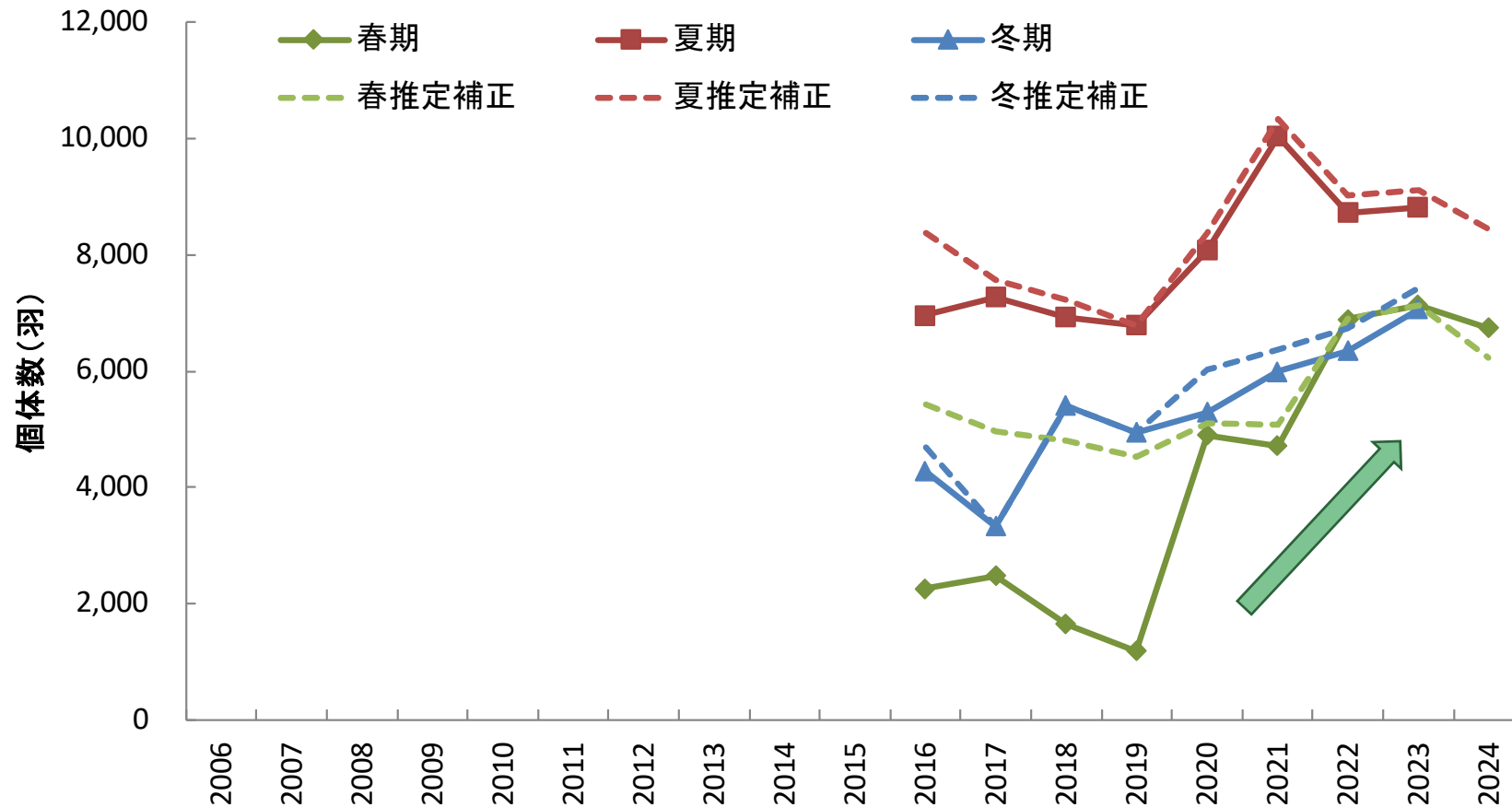
長期間同時期のデータがない場合や、県単位で突発的な個体数の変動があると、実際とはかけ離れた値になる可能性がある。

経年的に徐々に変化するようなデータで、一部データの欠落がある場合は、それを補正するプログラムなどが開発されているが、カワウの場合、ねぐらの攪乱や長距離移動など突発的な変化が大きいほか、欠落が継続することが多く、補正プログラムは上手く動作しない。そのため、強引な推定を試みているが、推定が間違っている可能性を常に意識する必要がある。



# 東北地方における個体数の推移

- まだ十分調査できているとは言えないものの、青森県、宮城県、秋田県では体制が整っている。
- 全てのねぐらを調査できていない県があると思われる。
- どの季節も個体数が増加している。2024年夏期はまだデータ集計中の県が多い



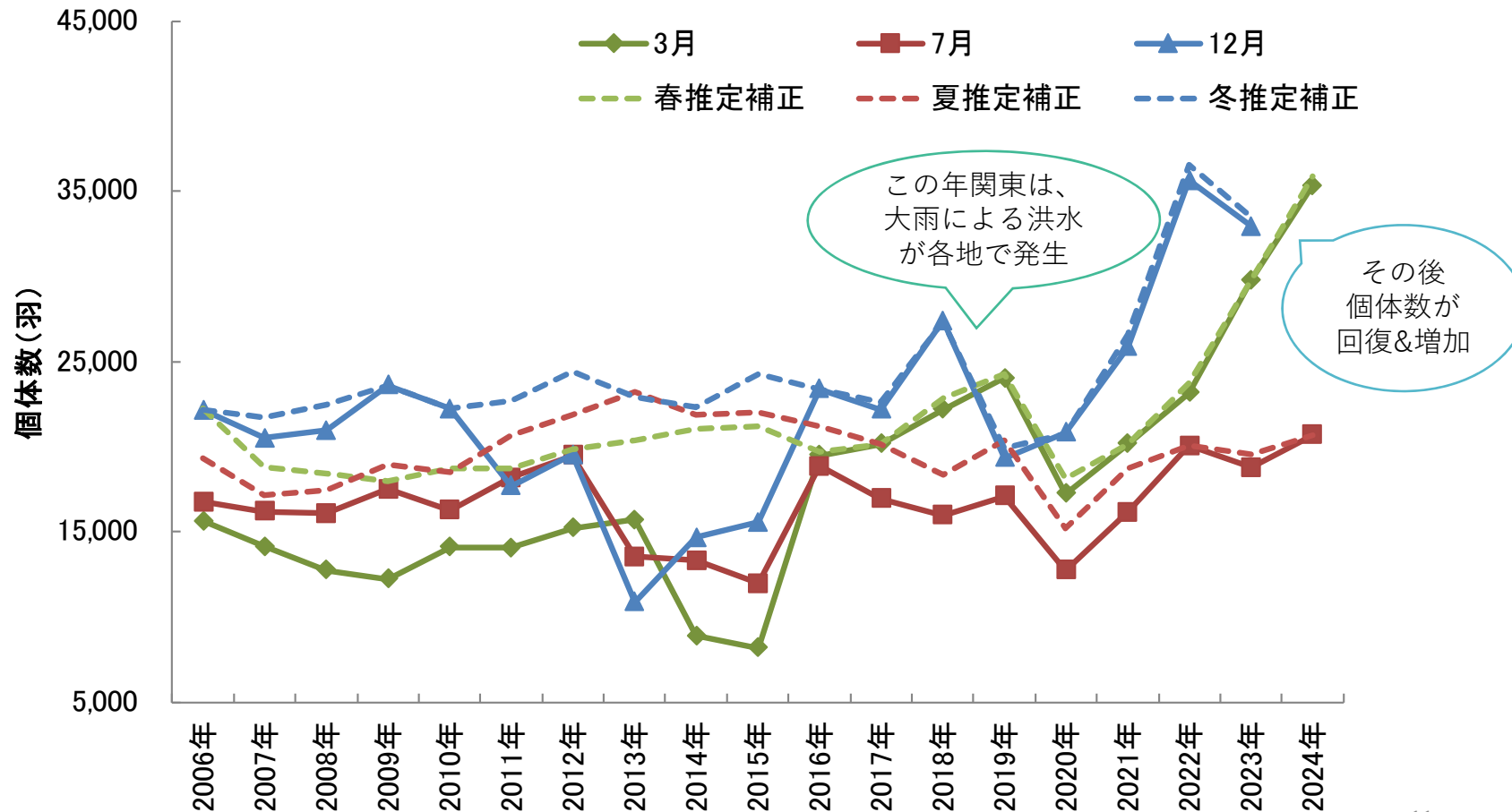
# 東北地方における個体数の推移

	2012年			2013年			2014年			2015年			2016年			2017年		
	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月
青森県												979		3207	2277		2811	1261
岩手県													667	261	100	455	259	77
宮城県																684	1118	219
秋田県													330	1810	1208	273	1520	828
山形県													170			290		200
福島県	866	1715	1140	1051	2151	1504	958	1630	1105	845	1899	1521	1099	1692	697	788	1567	757
合計	866	1715	1140	1051	2151	1504	958	1630	1105	845	1899	2500	2266	6970	4282	2490	7275	3342

	2018年			2019年			2020年			2021年			2022年			2023年			2024年	
	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月
青森県		2055	1261		3038	1821	2312	2706	1548	2402	2876	2900	2464	1808	2953	2519	1743	3360	2691	2157
岩手県	64	424	12	18	649	281	475	1368	50	405	1542	29	383	862		243	415	12	7	
宮城県		1775	1619		733	496	1011	1660	2610	934	2256	997	2485	2569	1,435	2368	3,285	1762	2730	
秋田県	278	1301	1284	28	1010	194		1398	30	390	2209	969	227	2372	433	1027	2042	452	154	276
山形県	475		200	186	300	722	370						370			224			144	
福島県	839	1374	1030	967	1067	1435	739	952	1061	592	1162	1104	965	1121	1533	756	1333	1482	1024	1707
合計	1656	6929	5406	1199	6797	4949	4907	8084	5299	4723	10045	5999	6894	8732	6354	7137	8818	7068	6750	4140

# 関東地方における個体数の推移

- 調査未実施の都県の欠損を補正した推定値では、2017年まではどの季節も年変動は大きくなかったが、それ以降年変動が大きくなった。
- 冬期は、2018年に増加し、2019年は急減した。
- 続く2020年の春期と夏期も前年より急減した。
- 2021年以降、増加傾向が続く。



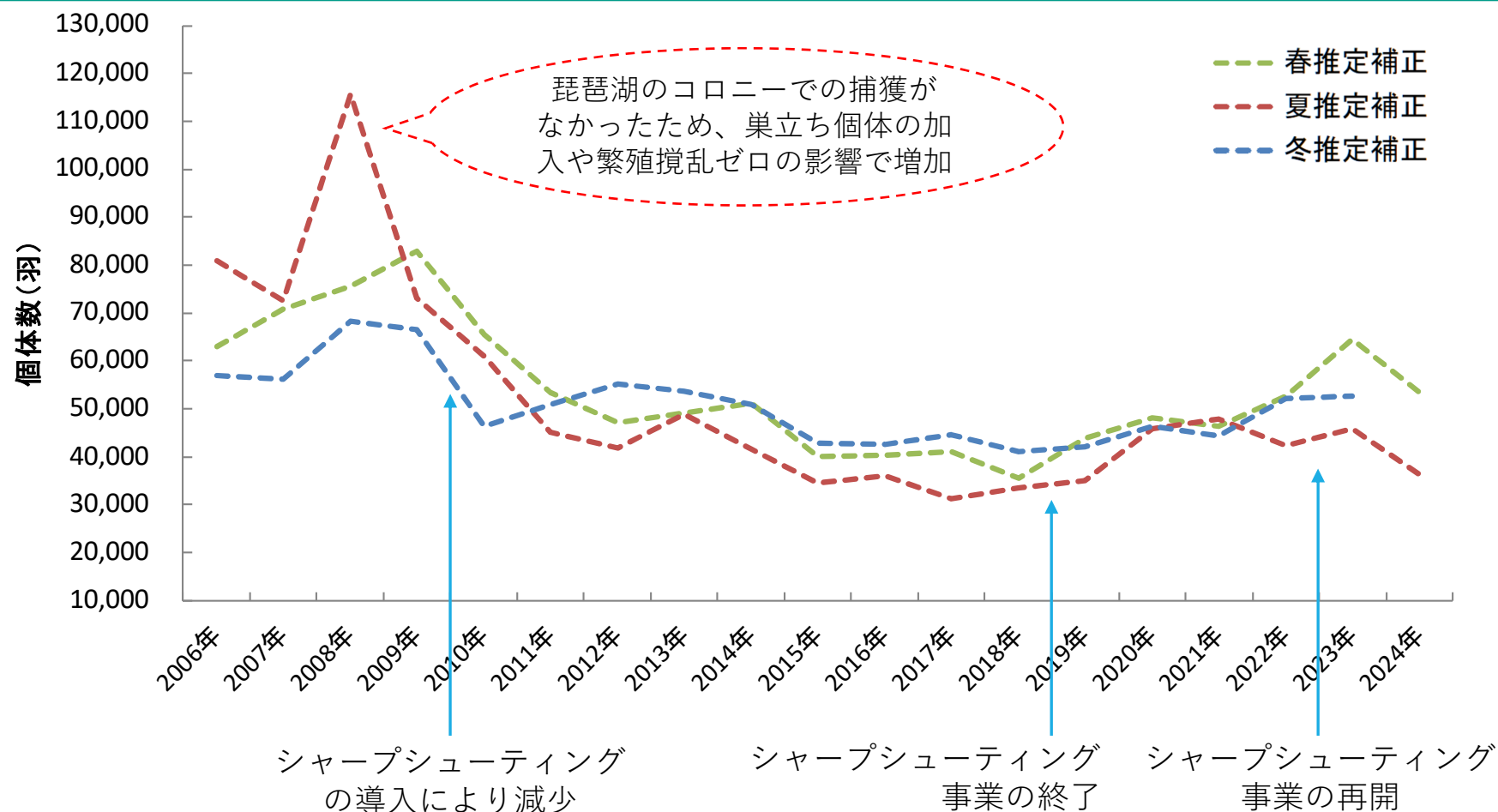
# 関東地方における個体数の推移

	2012年			2013年			2014年			2015年			2016年			2017年		
	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月
福島県	866	1715	1140	1051	2151	1504	958	1630	1105	845	1899	1521	1099	1692	697	788	1567	757
茨城県									5095	5250		4217	3949		5463	4211		6704
栃木県	1537	1253	2122	1460	1926	1741	1688	1347	2140	1393	834	2513	1389	933	2583	1135	627	1682
群馬県	583	1358	635	846	1421	956	1084	1399	753	771	1417	890	902	919	764	454	902	470
埼玉県	1239	1007	950	1000	1351	193	792	1228	577	1055	613	665	595	1084	694	422	173	597
千葉県	7153	7349	6978	6873									7751	7681	8721	9052	6448	7386
東京都	1234	3559	4180	1452	3142	2081	1849	4580	2228	1731	4083	2714	2000	3126	1577	1605	4963	2575
神奈川県	671	928	1601	997	669	2136	318	503	898	320	337	574		228	898	51	163	668
新潟県	1067	1319	1256	1126	1828	1353	1130	1512	1041	1248	1605	1476	1116	2025	1355	1618	1724	1179
山梨県	364	417	297	347	494	234	350	423	159	298	372	183	227	377	286	270	383	184
静岡県	479	605	382	576	545	672	745	690	682	507	826	817	455	800	365	555		
合計	15193	19510	19541	15728	13527	10870	8914	13312	14678	13418	11986	15570	19483	18865	23403	20161	16950	22202

	2018年			2019年			2020年			2021年			2022年			2023年			2024年	
	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月
福島県	839	1374	1030	967	1067	1435	739	952	1061	592	1162	1104	965	1121	1533	756	1333	1482	1024	1707
茨城県	6734		6115	4926		5826	3186		3786	4307		5029	4511	363	5491	7481	653	6641	8778	965
栃木県	896	761	1298	871	1290	1725	1398	930	1316	1228	1120	1931	1175	1095	1568	1432	1179	1799	1358	1017
群馬県	627	1189	748	831	1054	879	501	1051	524	519	938	933	528	773		691	1133	909	755	1263
埼玉県	335	451	508	166	162	386	208		365	260	119	572	404	89	599	621	205	1334	871	197
千葉県	8641	5367	12531	11841	7498	4978	7775	4951	9205	8930	7412	12371	11321	10450	19776	14430	8646	14580	17047	10157
東京都	2487	3898	2503	2343	4171	2407	2281	2182	1720	1712	2761	1723	2641	3550	3883	1977	3880	4603	3529	2471
神奈川県		151	771		281	492	276	335	1058	1025	1201	1217	536	591	1307	568	372	531	580	669
新潟県	1392	1526	1139	1227	1152	888	988	977	944	770	1202	820	894	844	657	1142	1016	660	1143	1388
山梨県	242	412	335	180	422	337	163	313	131	190	235	147	188	342	272	170	380	384	248	255
静岡県		859	406	670					1078	738	630			826	567	515				621
合計	22193	15988	27384	24022	17097	19353	17515	12769	20848	20163	16150	25847	23163	20044	35653	29783	18797	32923	35333	20710

# 中部近畿地方における個体数の推移

- 多くの県が継続して調査できているので、集計値と補正を加えた推定値に大きな差がない。
- 推定値からは、2020年夏期に個体数が増加したが、2021年はそれ程増えていない。
- 2023年はどの季節も個体数が増加していた。2024年は個体数の多い愛知県・滋賀県で前年と比べて個体数が減少した



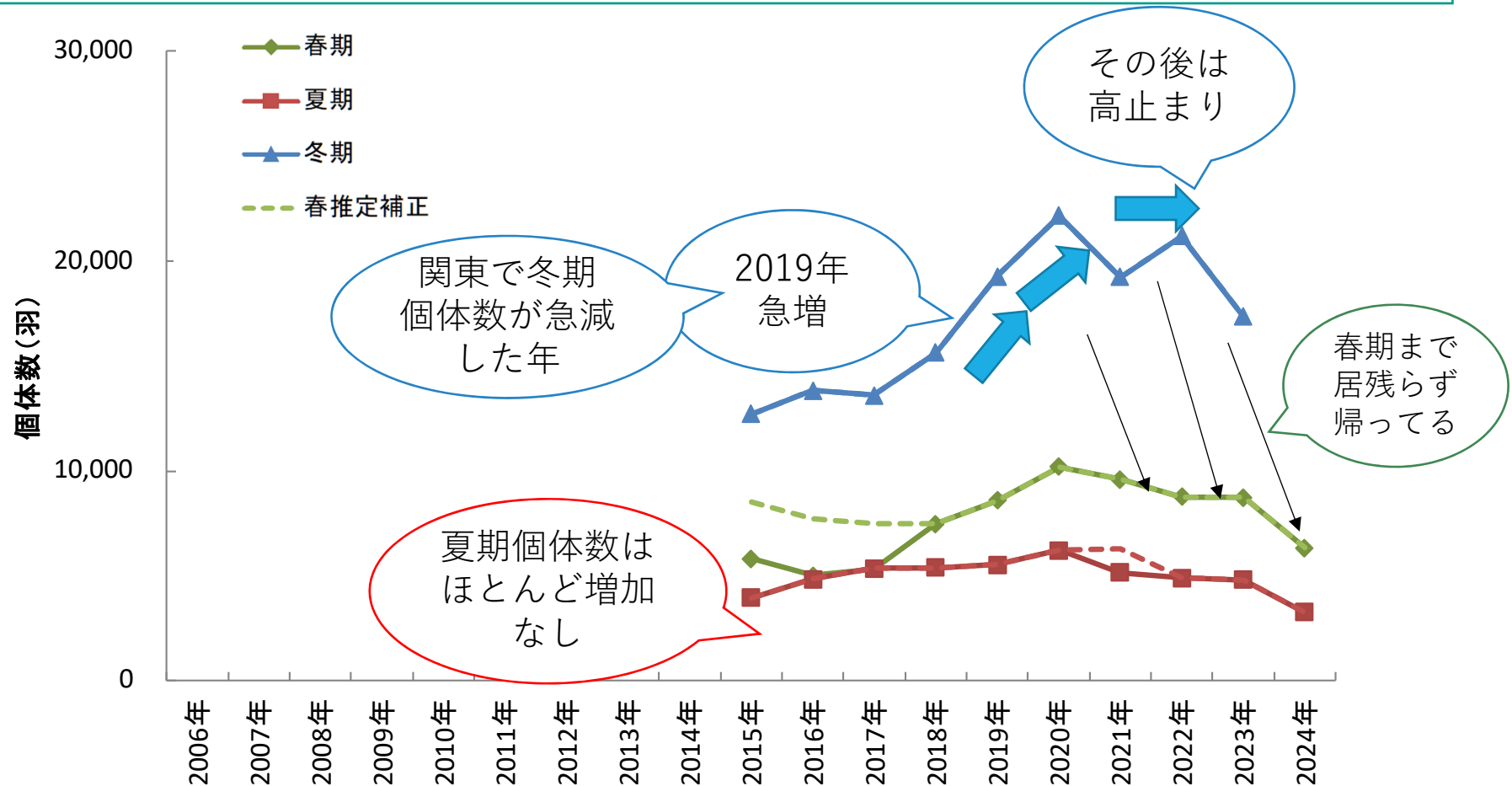
# 中部近畿地方における個体数の推移

	2012年			2013年			2014年			2015年			2016年			2017年		
	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月
富山県	712	721	397	658	576	478	551	540	164	713	657	668	527	683	319	412	633	463
石川県	371	9	480	395	37	375	365	65	455	361	72	524	366	85	487	351	71	281
福井県	390	252	470	459	170	442	303	169	418	353	226	503	425	248	502	459	333	527
長野県	326	648	371	617	1116	366	474	990	208	302	769	204	423	832	131	198	745	150
岐阜県	587	1604	555	867	1487	426	729	2092	612	446	1705	390	315	2333	591	575	1544	678
静岡県	6519	2501	6087	6556	4002	11890	7021	4009	8448	4005	3499	6420	4432	3266	9756	6165		
愛知県	17010	10883	25387	17010	10728	18207	15115	10466	17615	11177	8208	15567	12986	5279	11141	10702	4929	13293
三重県	5609	5403	5064	5411	4573	5615	4088	4253	6905	4089	3293	4014	2730			2448		
滋賀県	3790	10858	1494	4084	14475	1452	8429	6498	1448	7659	5940	1422	6538	9979	1682	7767	3600	2067
京都府	682	746	1059	625	687	1334	498	932	970	424	1085	1155	396	702	837	478	931	834
大阪府	2602	1552	1844	2674	1821	2152	2587	2314	2085	1986	1588	1624	2174	1693	2097	1732	1802	1369
兵庫県	4684	3348	6838	5230	4287	6379	5456	4167	5786	3667	3523	5837	4822	4172	6575	5449	4074	6779
奈良県	845	831	872	643	929	1080	910	1145	674	617	893	785	883	673	823	565	734	876
和歌山県	953	666	1137	1268	1229	1366	1213	1172	1518	1705	880	1197	1146	717	1098	1376	574	1494
徳島県	1984	1874	3036	2569	2794	2135	3441	2815	3550	2612	2320	2487	2252	2039	2521	2287	2472	2205
合計	47064	41896	55091	49066	48911	53697	51180	41627	50856	40116	34658	42797	40415	32701	38560	40964	22442	31016

	2018年			2019年			2020年			2021年			2022年			2023年			2024年	
	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月	12月	3月	7月
富山県	559	628	550	1005	620	518	665	493	810	864	1016	993	1555	956	890	1568	1012	901	559	457
石川県	451	57	554	515	87	346	428	80	297	381	9	561	459	35	503	373	161	462	209	109
福井県	381	228	592	441	215	501	411	235	1066	609	483	902	548	252	643	486	437	702	499	438
長野県	280	582	111	256	376	58	232	406	72	174	320	62	99	368	48	148	466	420	207	700
岐阜県	934	1494	309	379	2364	811	897	3199	1194	719	1862	654	1249	2213	1087	1231	2585	1393	1132	2106
静岡県		1847	5018	4408				1551	8854	10750				1459	6139	7806				557
愛知県	7454	5058	11950	14657	4632	11055	18558	4974	10220	7364	4527	7077	7552	5107	18170	18195	5281	16214	14394	3590
三重県	1879			2780			2229			1314			1569			2613		4697	2043	
滋賀県	6607	6944	1859	7462	8816	1759	7261	19456	1724	12829	22450	2421	17451	14326	3309	18254	17209	3939	18098	13120
京都府	372	888	735	318	725	927	298	693	871	204	1036	634	277	809	761	734	1813	602	229	1164
大阪府	1744	1286	1269	1799	1521	589	834	1292	1802	1441	1057	899	3233	1785	1779	1970	1706	1998	1609	1338
兵庫県	5277	4138	6650	4947	4283	6839	4776	3643	6664	4587	3898	6802	4947	4508	7129	6255	3439	6328	2235	3167
奈良県	444	694	913	686	735	871	557	1002	883	680	864	1131	549	915	1129	541	1221	1297	757	961
和歌山県	1223	826	1677	1483	803	1863	1184	1016	2046	1576	898	2220	1261	1082	990	1837	1362	1989	1177	1451
徳島県	2686	2665	2728	2818	1974	2847	2169	1696	3799	2885	1830	4871	2688	2423	3564	2625	1958	4235	1825	1020
合計	30291	27335	34915	43954	27151	28984	40499	39736	40302	46377	40250	29227	43437	36238	46141	64636	38650	45177	44973	30178

# 中国地方の個体数の推移

- 2024年春のデータは一部揃っていない。
- 他の季節に比べ冬期の個体数が多く、中部近畿地方などに移出して繁殖している個体が多いと推測される。
- 冬期は、2018年から個体数が増加しはじめ、その後高止まりしている状態。2024年はやや減少か



※岡山県では、夏期はねぐらでの個体数調査ではなく飛来数調査が実施されている

# 中国地方の個体数の推移

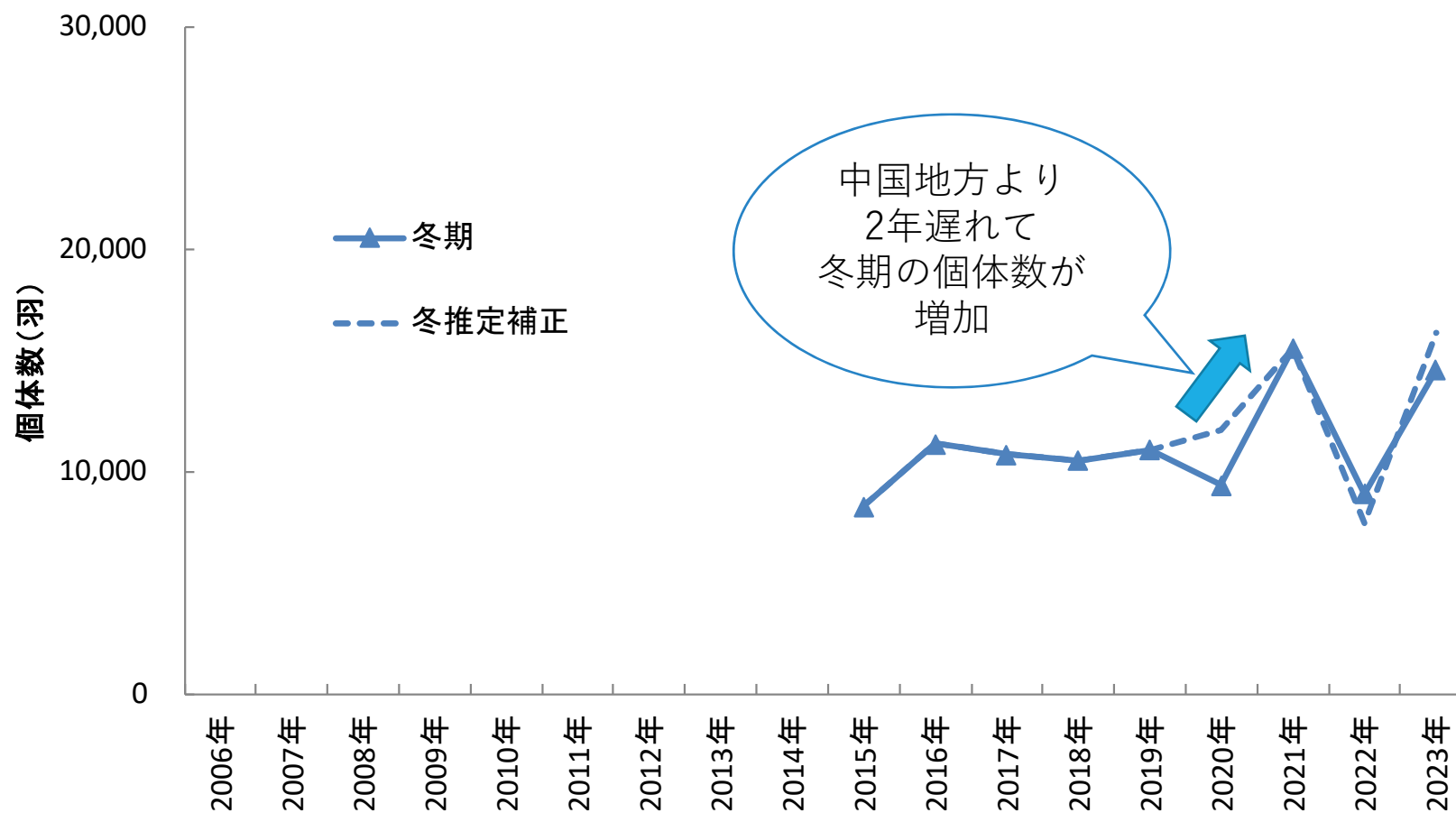
	2012年			2013年			2014年			2015年			2016年			2017年		
	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月
鳥取県	152	283	410	293	349	766	313	126	133	456	487	793	430	265	459	455	335	191
島根県	1033	1485	1238	1393	1723	1137	2111	2589	1050	797	341	1771	807	1344	2490	823	1727	1903
岡山県												3144			3629			3949
広島県								1575	3495	3587	2302	3796	2885	2273	4411	2898	2290	4628
山口県				838	662	2519	1872		2162	974	811	3209	893	959	2840	1139	1002	2924
合計	1185	1768	1648	2524	2734	4422	4296	4290	6840	5814	3941	12713	5015	4841	13829	5315	5354	13595

	2018年			2019年			2020年			2021年			2022年			2023年			2024年	
	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月
鳥取県	259	211	456	330	449	483	221	452	964	332	740	696	405	497	429	279	495	725	107	167
島根県	596	1337	2487	1042	1288	1615	621	1319	2546	976	1271	2187	988	1515	2879	1202	1412	3461	1118	442
岡山県	2196		5125	2383		7053	3573		6573	2811		6631	2661		6063	2533		5992	2559	
広島県	3183	2789	4628	3249	2689	6784	3918	3337	7526	3811	3148	7363	3309	2880	8420	3527	2915	7181	2553	2642
山口県	1232	1032	2938	1591	1084	3330	1864	1100	4546	1657		2362	1387		3395	1175				
徳島県	2686	2665	2728	2818	1974	2847	2169	1696	3799	2885	1830	4871	2688	2423	3564	2625	1958	4235	1825	1020
香川県		1303	3150		1461	3627		1220	4072		608	5759		533	2429	2131	654	9138		1871
愛媛県			3397			3269			168			3180			1354			1217		
高知県			1257			1248			1385			1746			1687					
合計	10152	9337	26166	11413	8945	30256	12366	9124	31579	12472	7597	34795	11438	7848	30220	13472	7434	31949	8162	6142



# 四国地方の個体数の推移

- 冬期の調査は全県で実施されるようになった。
- 春期と夏期は調査が実施されていない県が多い。
- 冬期個体数は中国地方より2年ほど遅れて増加した。
- その後、越冬期の個体数は増減を繰り返している



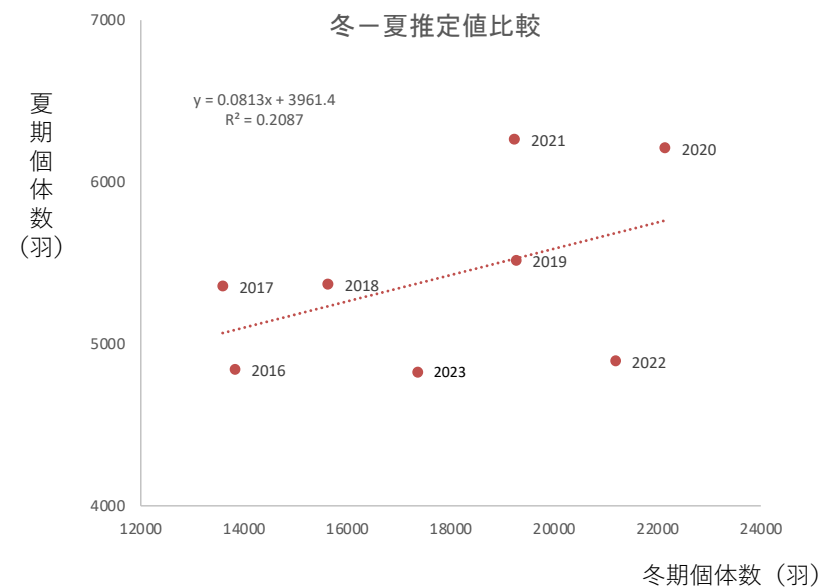
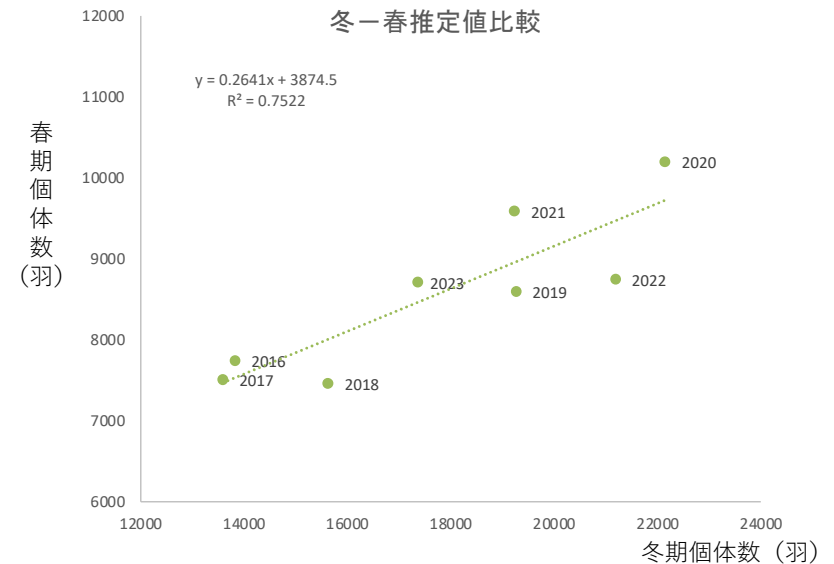
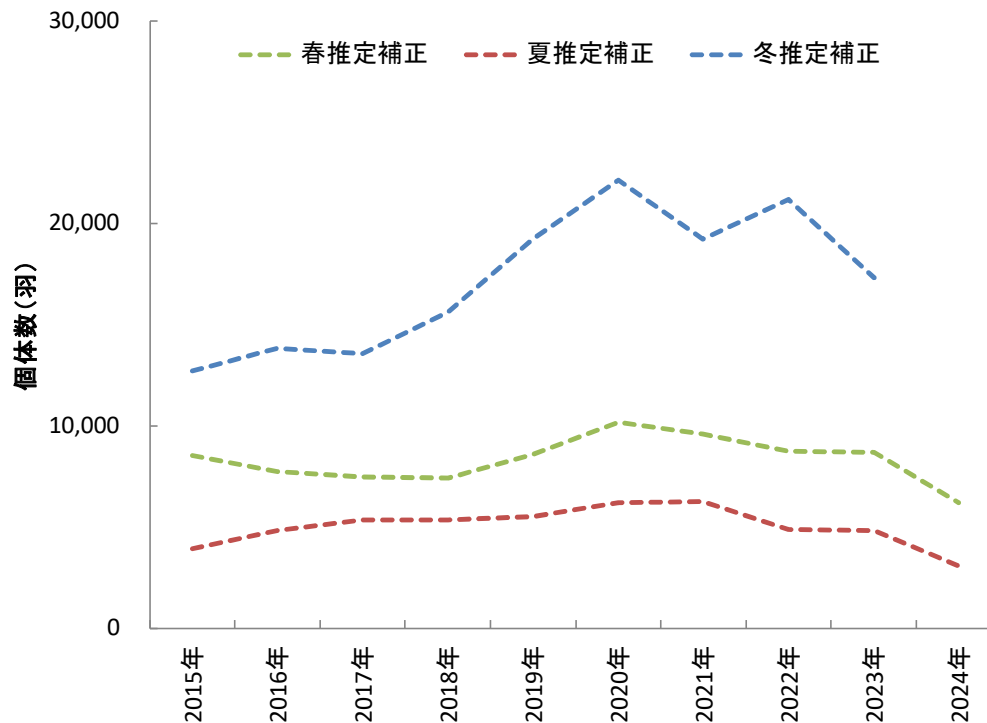
# 四国地方の個体数の推移

	2012年			2013年			2014年			2015年			2016年			2017年		
	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月
徳島県	1984	1874	3036	2569	2794	2135	3441	2815	3550	2612	2320	2487	2252	2039	2521	2287	2472	2205
香川県	1695	827	1682		1354	1422		874		1099	1750	2993		1360	3422		785	2770
愛媛県										1401		1785	1637		4424	1559		4961
高知県			1387			1335			1169			1180			919			868
合計	3679	2701	6105	2569	4148	4892	3441	3689	4719	5112	4070	8445	3889	3399	11286	3846	3257	10804

	2018年			2019年			2020年			2021年			2022年			2023年			2024年	
	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月
徳島県	2686	2665	2728	2818	1974	2847	2169	1696	3799	2885	1830	4871	2688	2423	3564	2625	1958	4235	1825	1020
香川県		1303	3150		1461	3627		1220	4072		608	5759		533	2429		654	9138		1871
愛媛県			3397			3269			168			3180			1354			1217		
高知県			1257			1248			1385			1746			1687					
合計	2686	3968	10532	2818	3435	10991	2169	2916	9424	2885	2438	15556	2688	2956	9034	2625	2612	14590	1825	2891

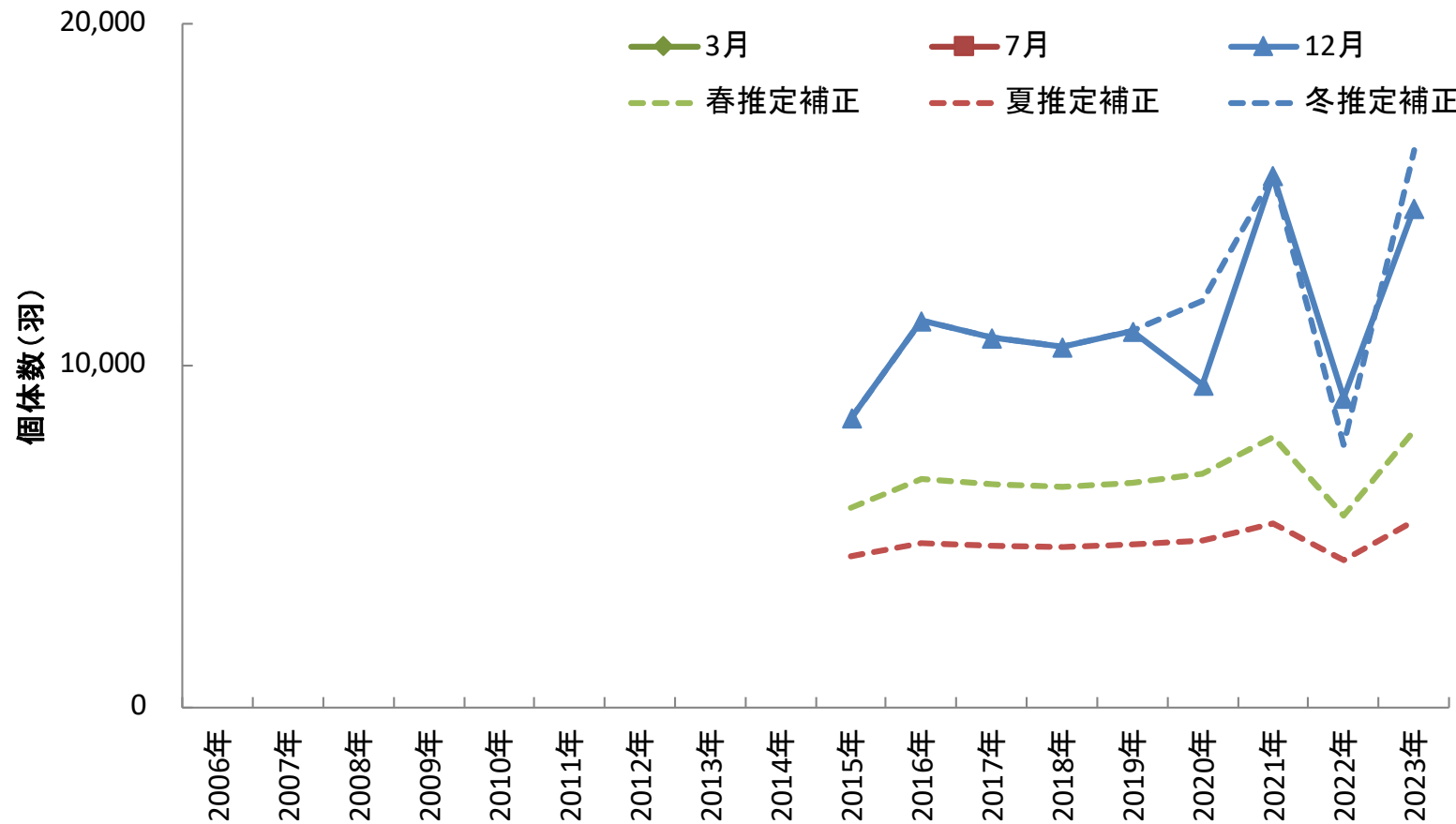
# 四国地方の個体数の推移（春夏の推定）

- 調査の実施されていない県の多い春期と夏期の個体数の推定を、個体数の推移が類似している中国地方のデータをもとに行った。
- 中国地方では、冬期の個体数と、春期、夏期との個体数には相関関係がみられる。
- そこで、その相対値を用いて、四国地方の冬期の個体数から春期と夏期の個体数を推定した。



# 四国地方の個体数の推移（春夏の推定）

- 調査の実施されていない県の多い春期と夏期の個体数の推定を、個体数の推移が類似している中国地方のデータをもとに行った。
- 中国地方では、冬期の個体数と、春期、夏期との個体数には相関関係がみられる。
- そこで、その相対値を用いて、四国地方の冬期の個体数から春期と夏期の個体数を推定した。



# 九州地方の個体数調査の現状

- 2019年頃から調査を実施する県が増えたが、その後継続されていない県もある。
- 毎年調査されている県でも、県内で把握されているカワウのねぐら・コロニーのごく一部しか調査できていない県が多い。

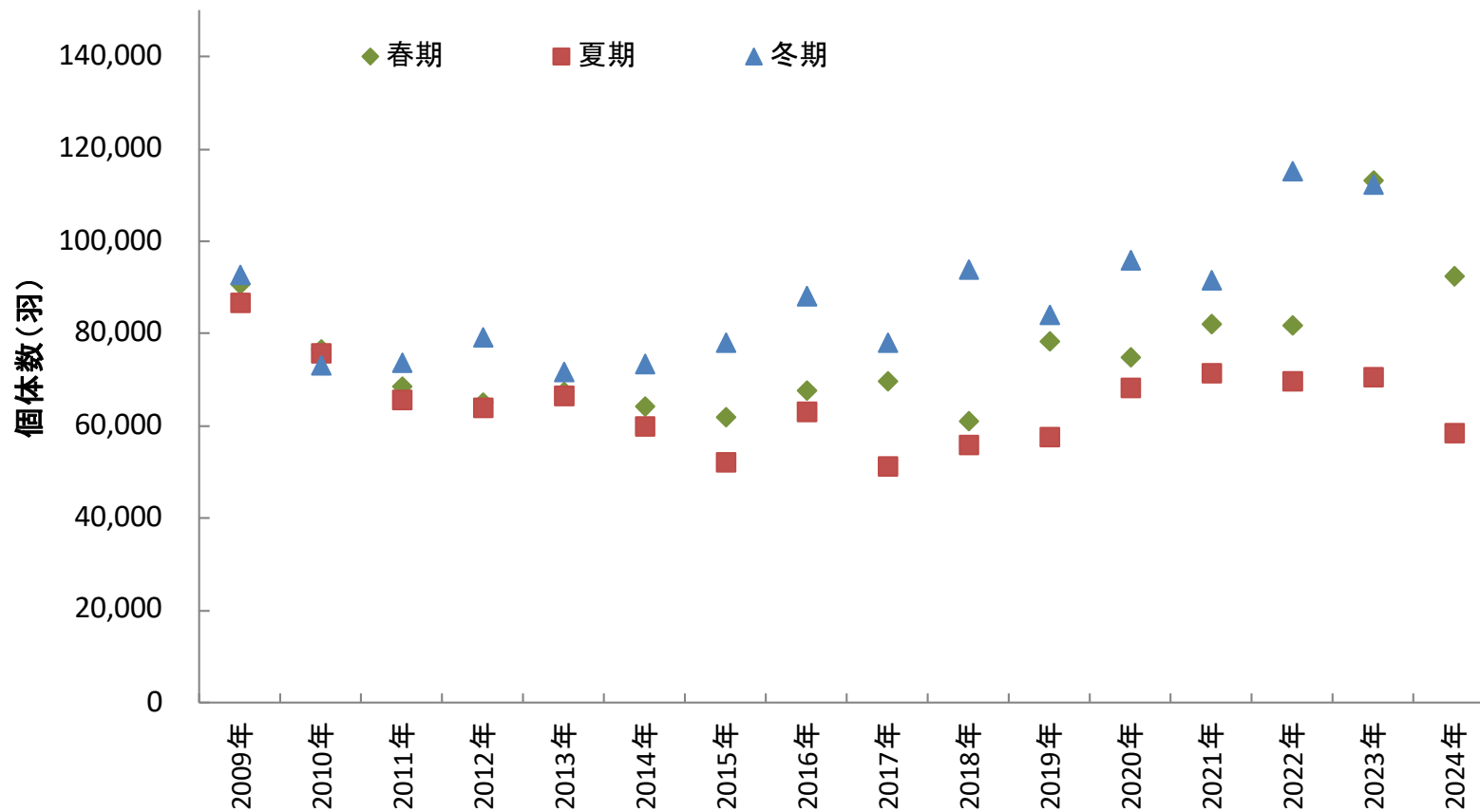
グラフを作成できる  
ようなデータの蓄積  
ができていない

	2018年			2019年			2020年			2021年			2022年			2023年			2024年	
	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月	11-2月	3-6月	7-10月
福岡県	20	41	229	86	141	312	146	147	322	107	171	337	41	229	269	11	7	123	7	7
佐賀県																				
長崎県			1940			2213			581			332			413			551		
熊本県	49	12	422	26		555	663	100	461	808	89	617	311	96	1006	1073				
大分県	390	385	1138	1281	267	1255	1354	485	365	418	103	623	339	153	304	316	217	243	254	155
宮崎県				78	207	709	314	386	834	596										
鹿児島県					36	6	2	71	221											
沖縄県													50	112	80					
合計	459	438	3729	1471	651	5050	2479	1189	2784	1929	363	1909	691	528	2104	1480	224	917	261	162



# 全国の個体数の推定

- 個体数のデータが得られている都道府県のデータを足した値をグラフにしたもので、グラフが示しているのは、少なくともこの個体数は全国にいたという下限の値。
- 年により調査している都道府県が異なるため、経年変化は読み取るものではない。
- 春期の個体数は、2009年は9万羽、2023年が過去最多の11万羽、2024年は9万羽以上生息していた。

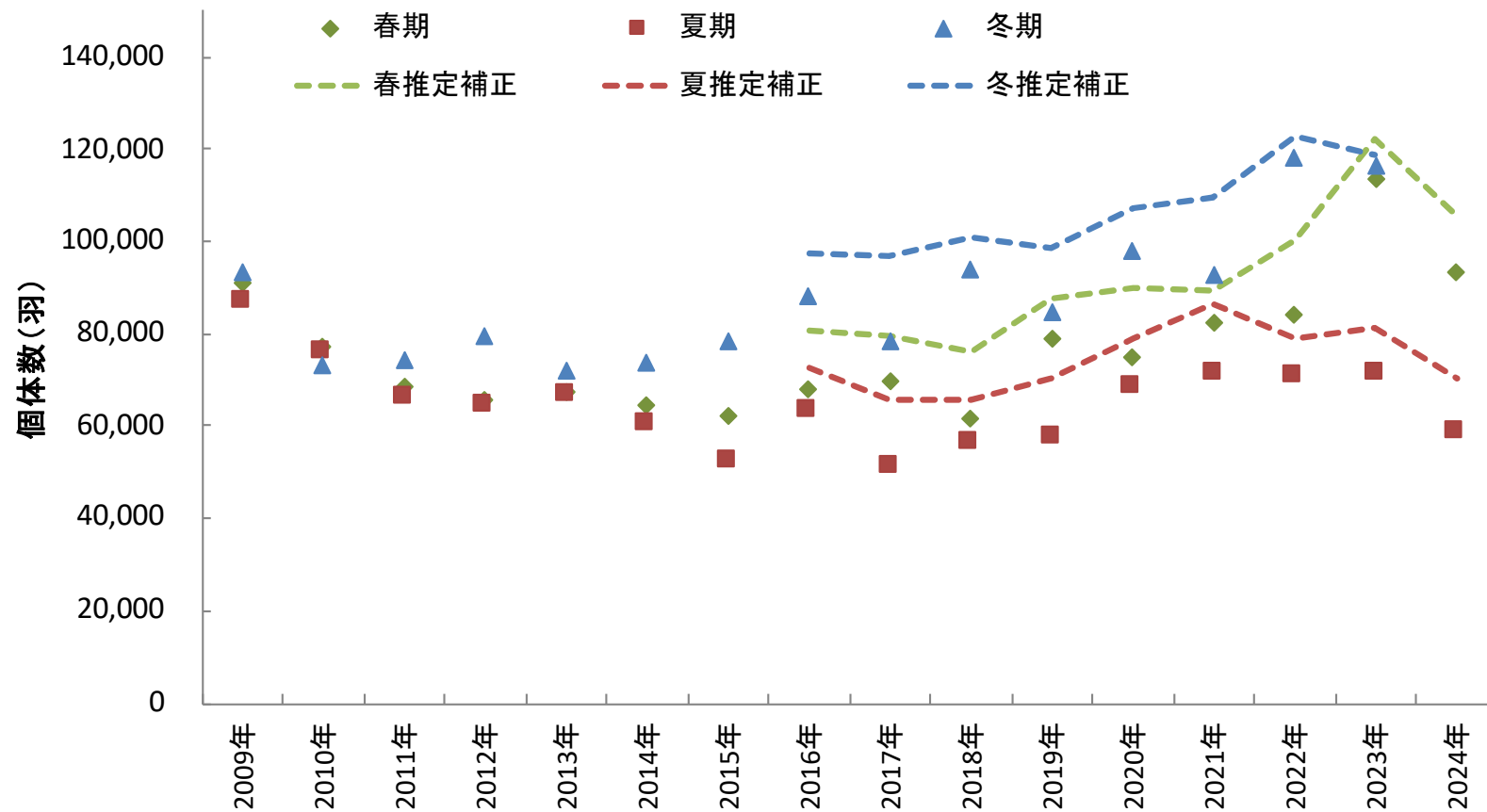




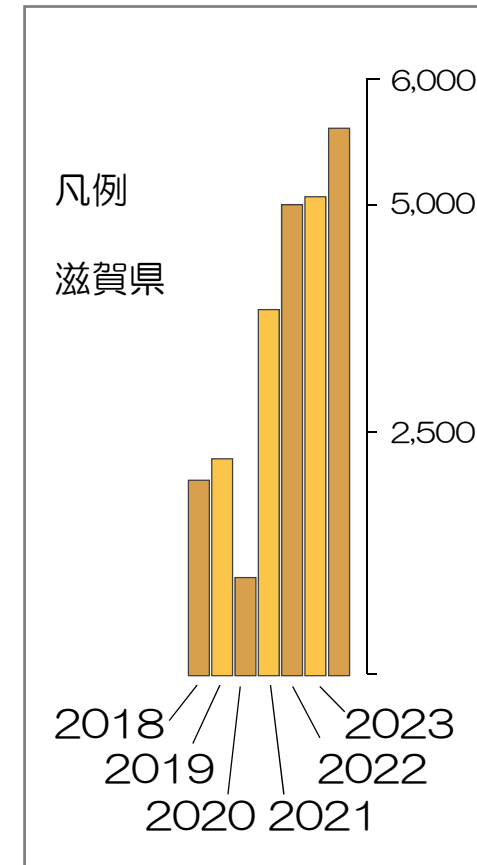
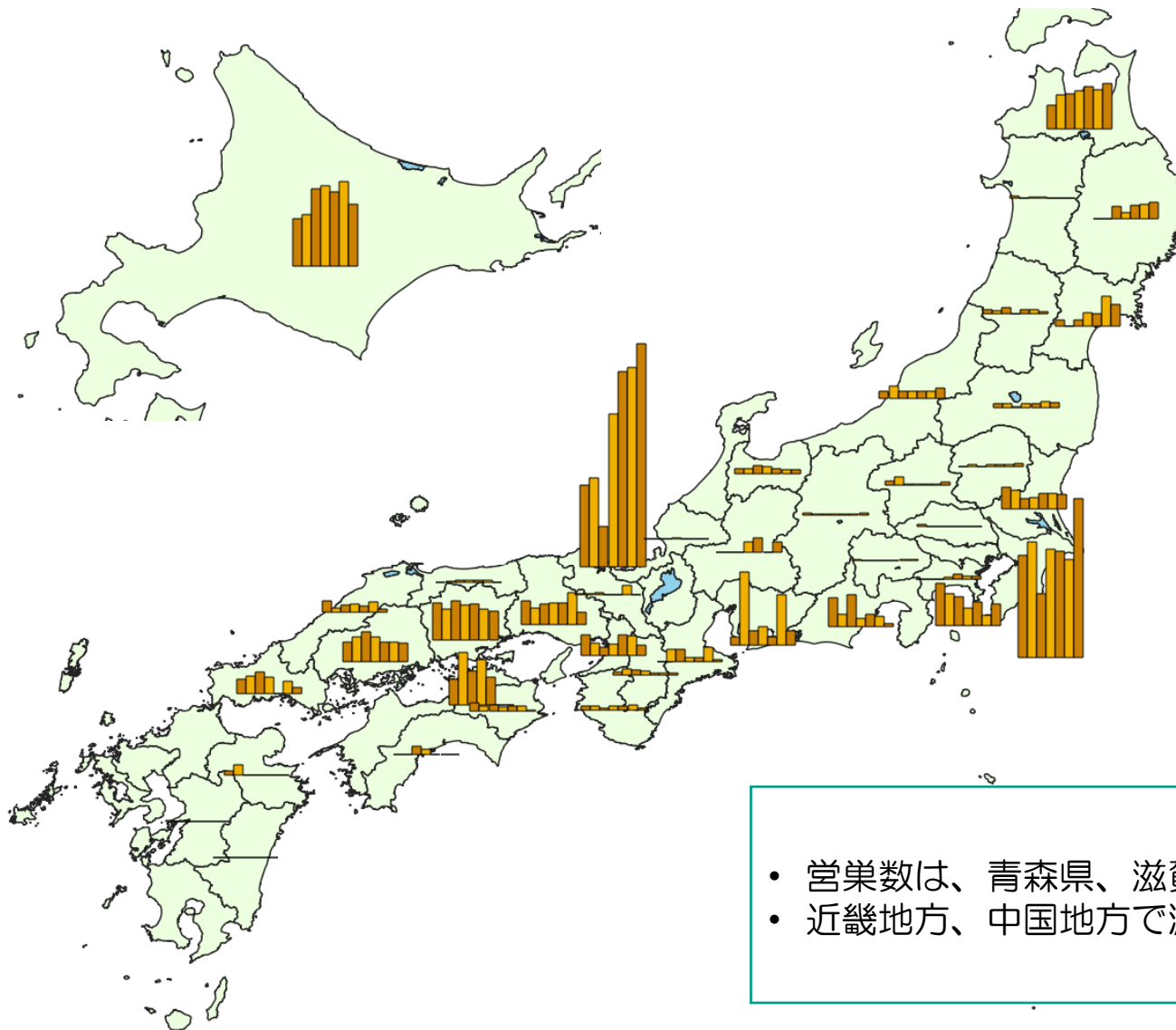


# 全国の個体数の推定

- 未調査月の値を前後の年の同じ季節の個体数等で保管する方法で求めた東北、関東、中部近畿、中国四国、九州沖縄の推定値に、北海道の営巣数の2倍（1巣に雌雄の親鳥のみがいると仮定）の値を加えて2016年以後の個体数の推移をグラフ化した。



# 2018-2024年春期のカワウの都道府県別営巣数

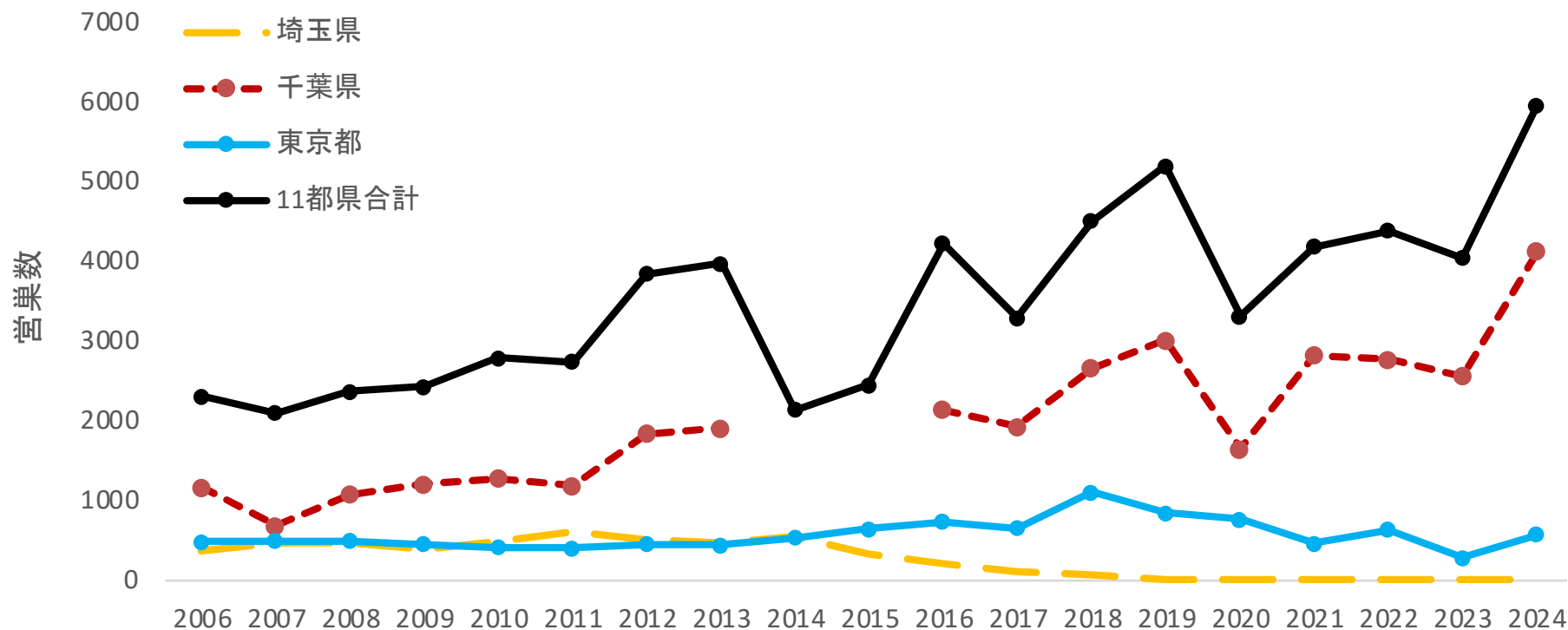


- 営巣数は、青森県、滋賀県、千葉県などで増加。
- 近畿地方、中国地方で減少傾向

北海道の2020年と2021年、愛知県の2019年は営巣数の多いコロニーで調査が実施されたが他の年は実施されなかった。香川県は冬期調査時の営巣数を使用した。

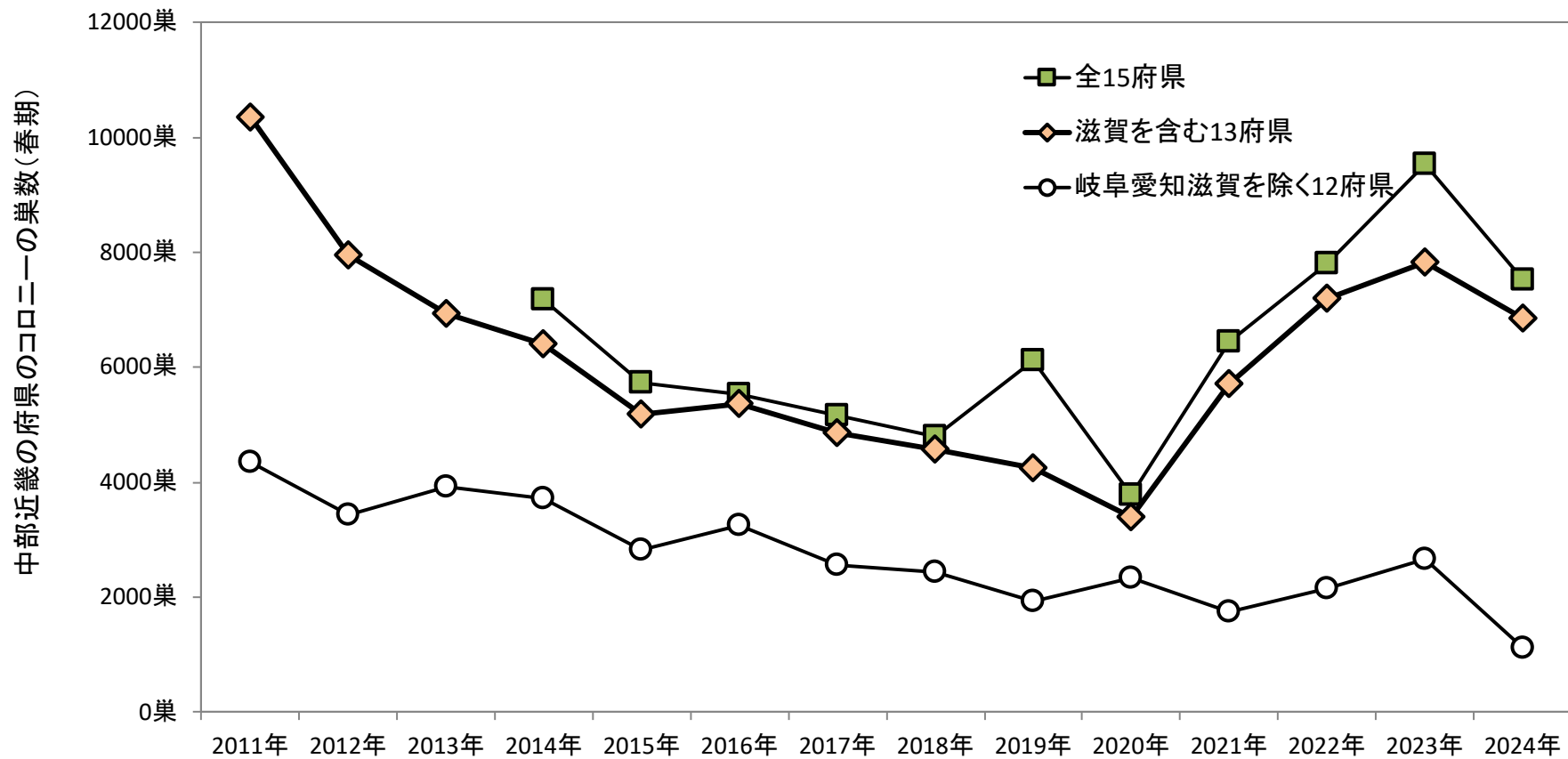
# 関東地方における営巣数（春期）の推移

- 2018年と2019年の春は個体数の増加に伴い、営巣数も多かった。
- 2020年は、2019年冬の個体数減少の影響で2020年春の個体数が少なかったため、営巣数も少なくなった。
- 増減を繰り返しながらも、徐々に営巣数が増加している。



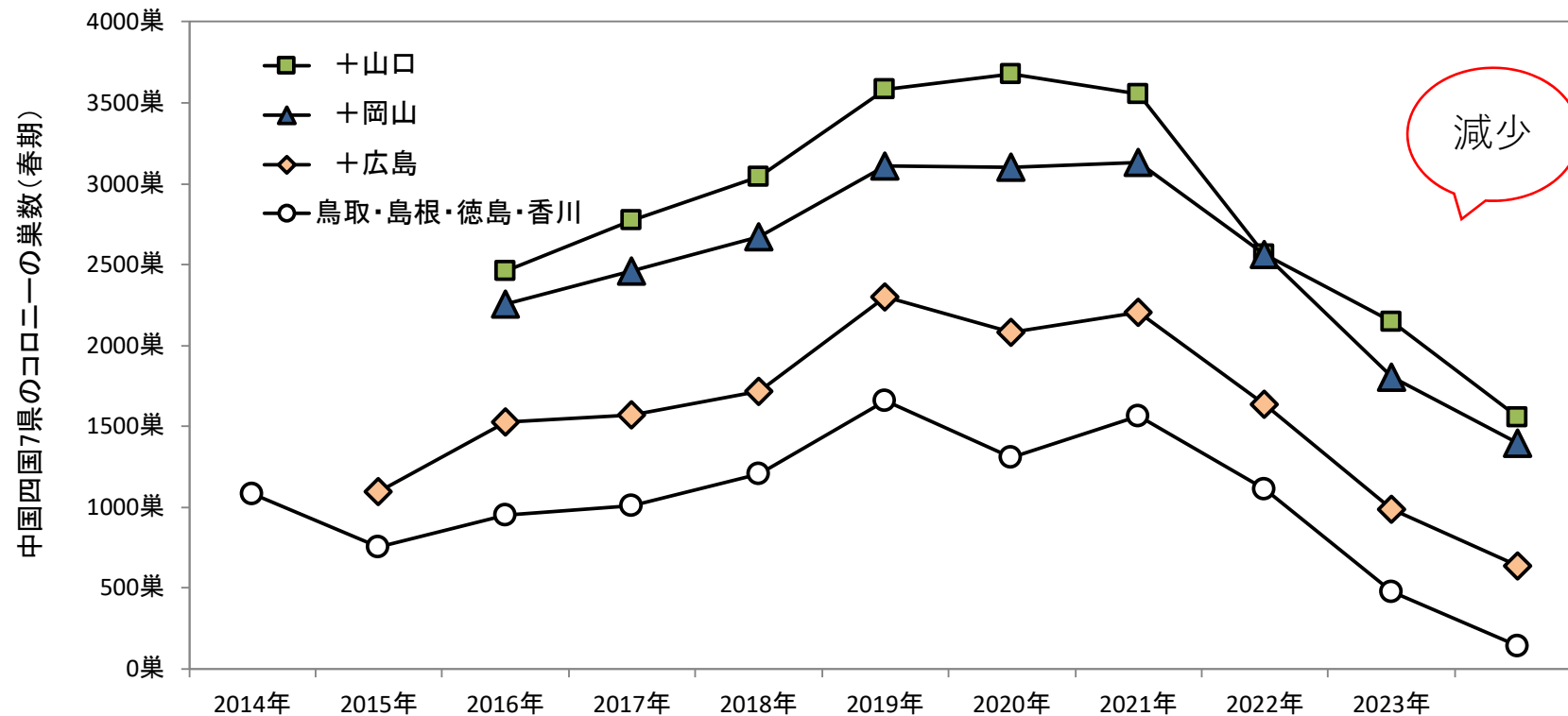
# 中部近畿地方における営巣数（春期）の推移

- 個体数は2020年の夏に増加したが、その年の春の営巣数は少なかった。
- 2021年以降は増加傾向にある。
- 愛知県で2019年と2023年に営巣数が多かったが、2024年は少なかった



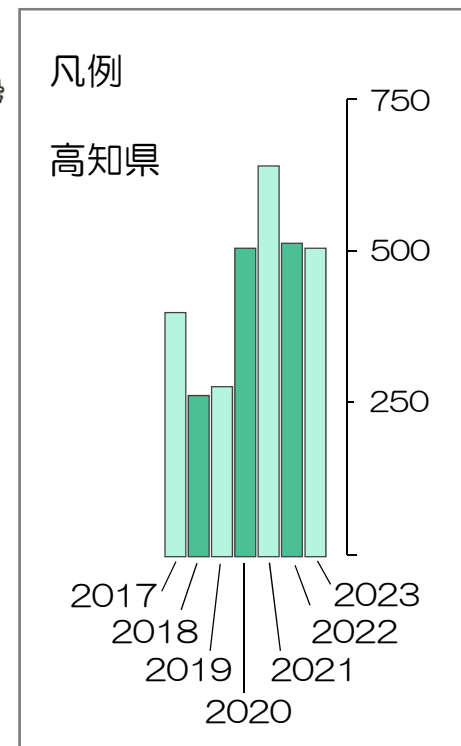
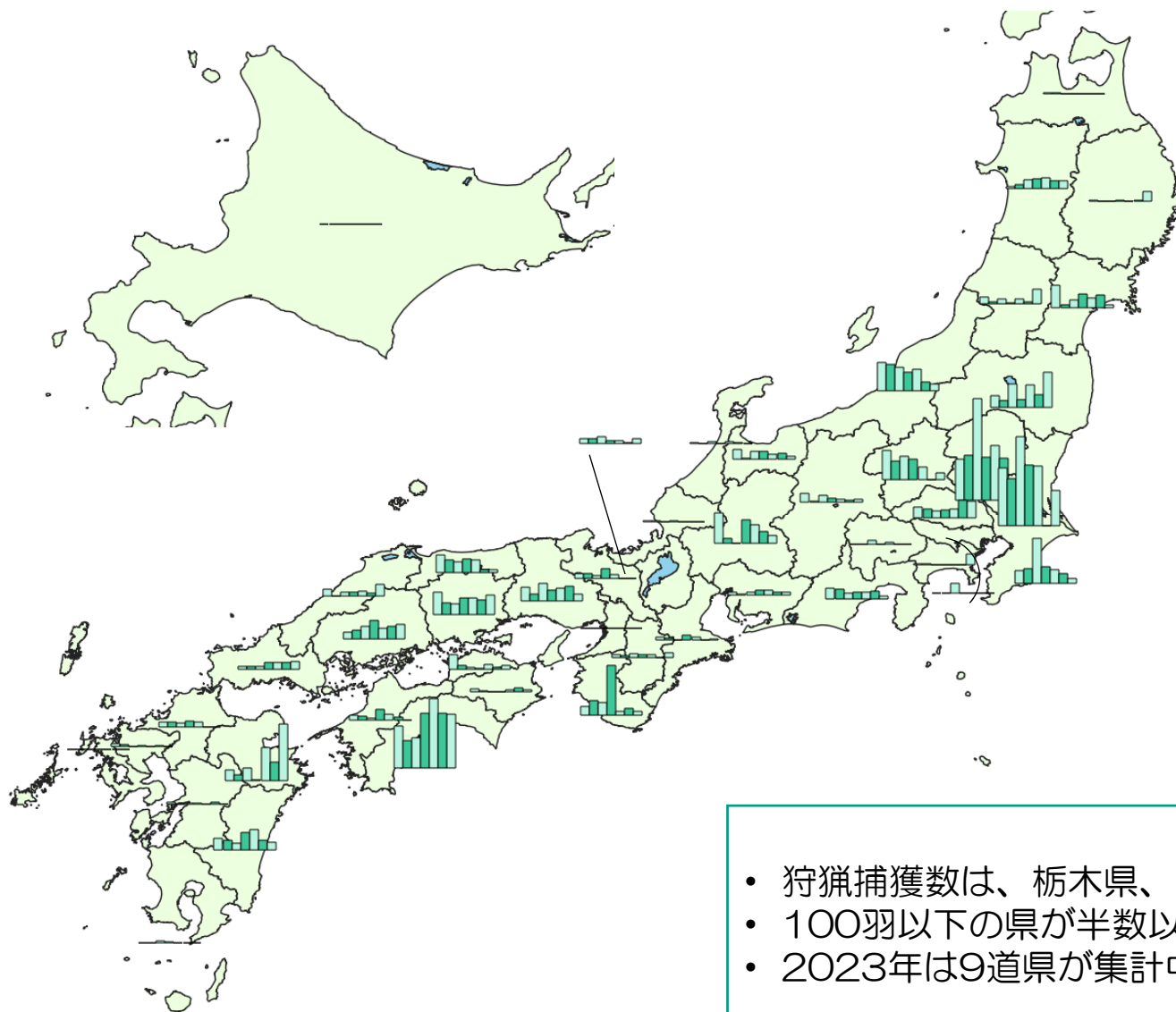
# 中国四国地方における営巣数（春期）の推移

- 2015年以降、営巣数は増加傾向にあったが、2019年頃に頭打ちになった。
- 2022年以降は営巣数が減少している。



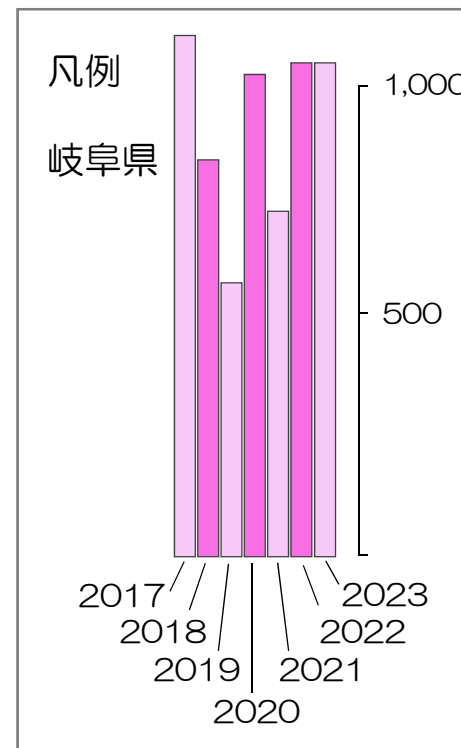
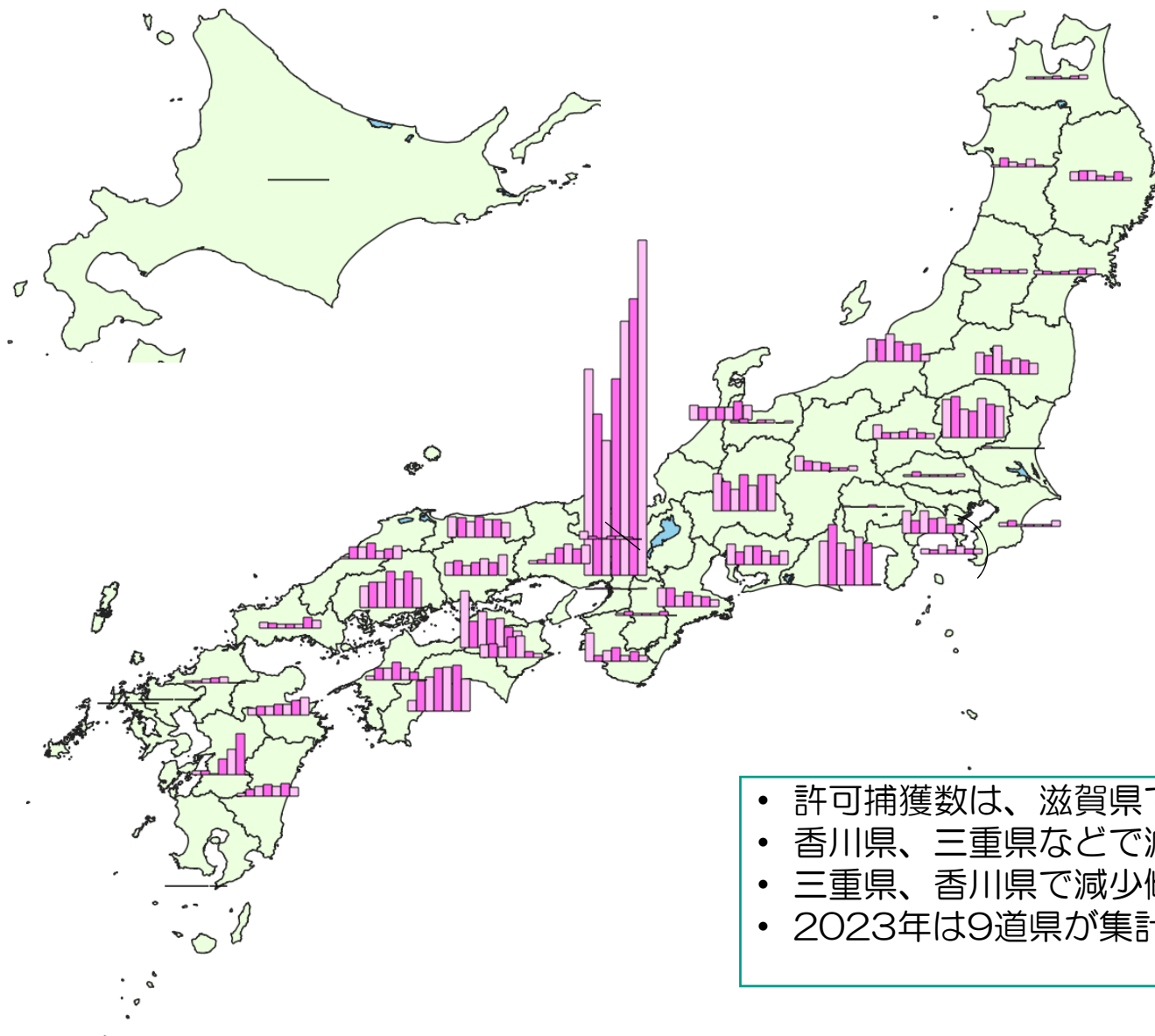
# カワウの捕獲状況について (捕獲個体数)

# 2017-2022年度のカワウの都道府県別狩猟捕獲数



- 狩猟捕獲数は、栃木県、茨城県、高知県で多い。
- 100羽以下の県が半数以上で、1桁の県も多い。
- 2023年は9道県が集計中。

# 2017-2022年度のカワウの都道府県別許可捕獲数

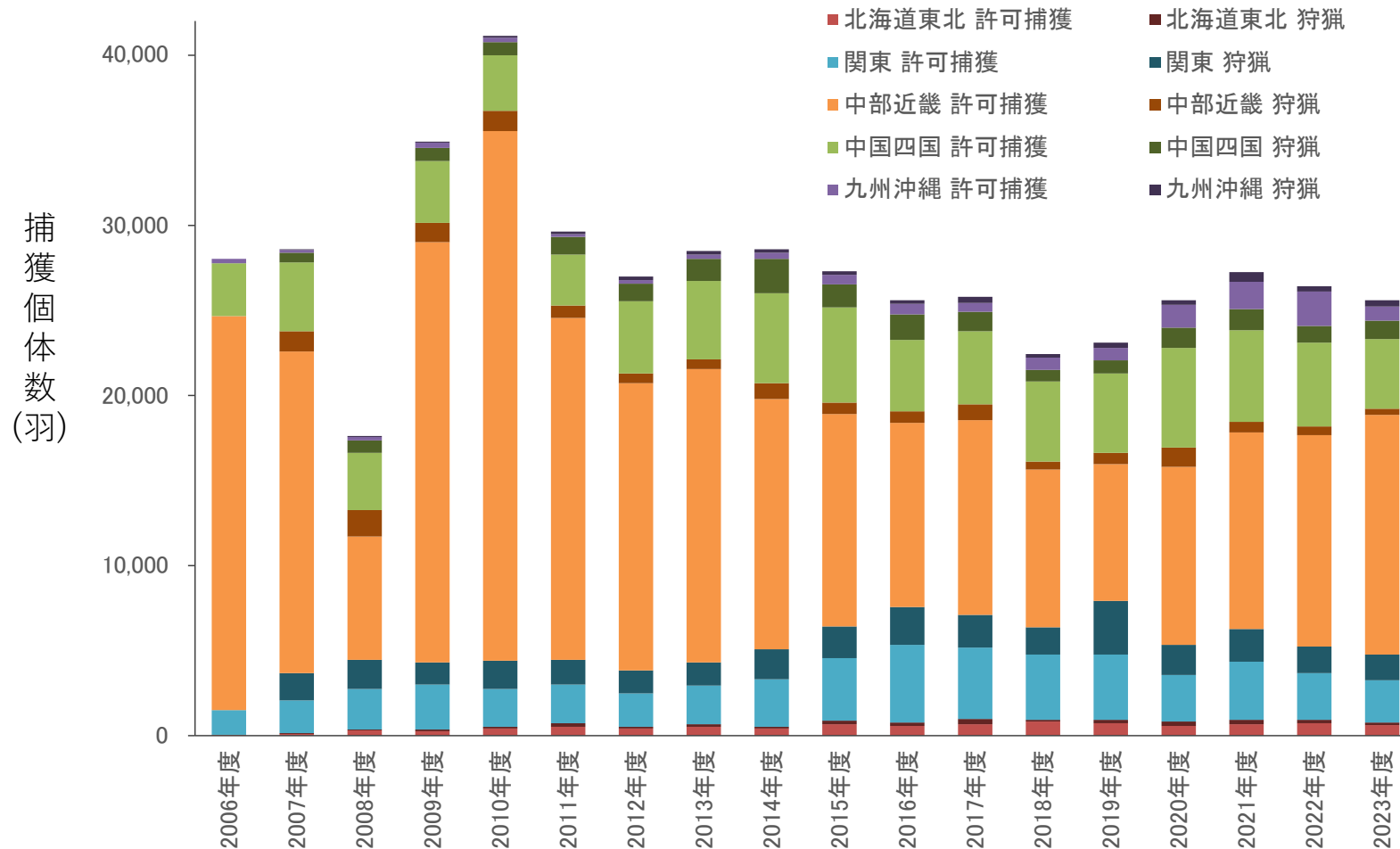


- 許可捕獲数は、滋賀県で多い。
- 香川県、三重県などで減少傾向。
- 三重県、香川県で減少傾向。
- 2023年は9道県が集計中



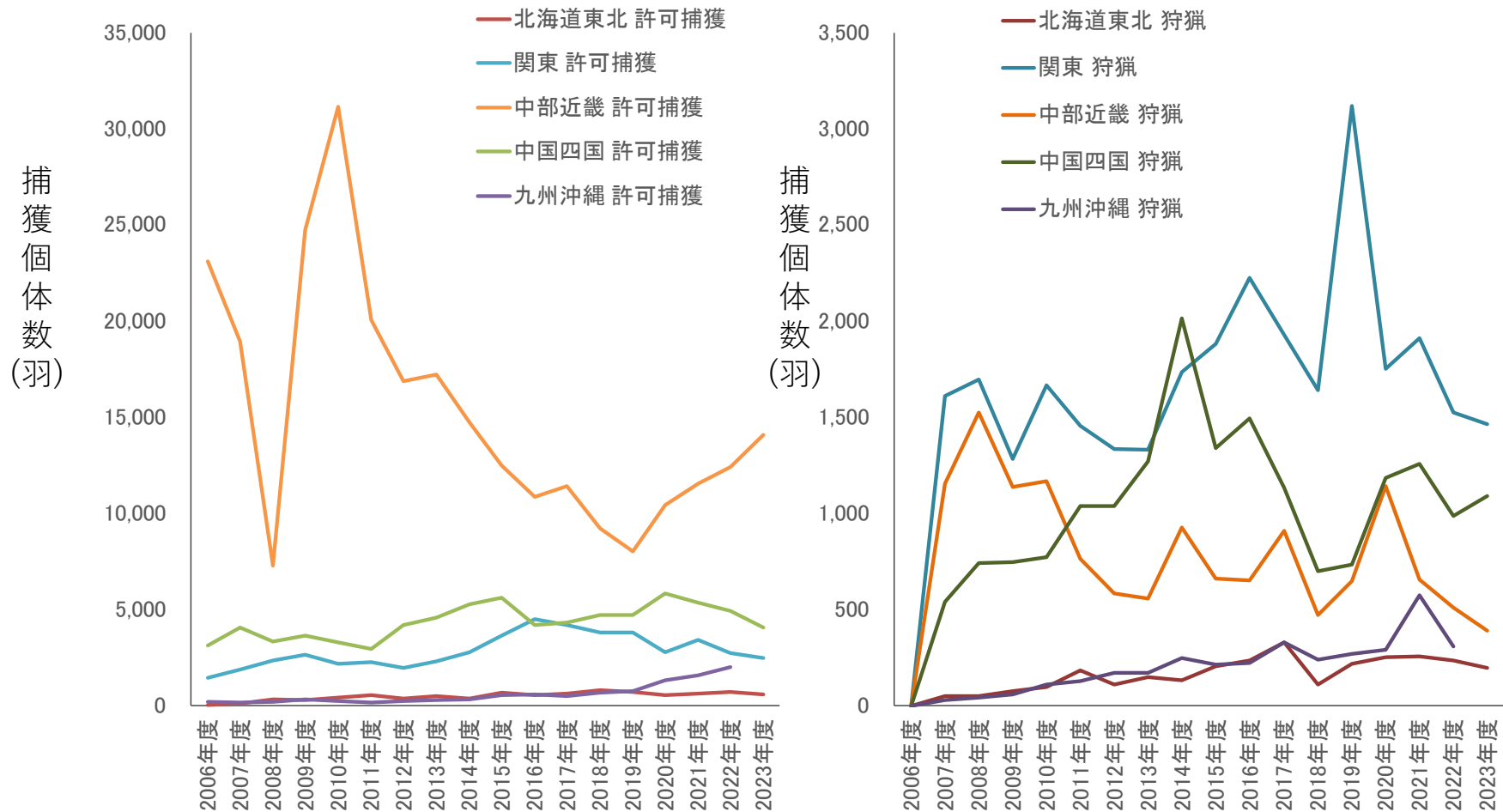
# カワウの捕獲の実施状況

- 最も多かった2010年度は全国で41,137羽を捕獲していた。
- 個体数減少に伴い中部近畿での捕獲数が減っていたが、2020年度から増加に転じている。
- 2023年度は6道県が集計中。滋賀県、青森県などで増加、香川県などで減少した他は前年と同程度。



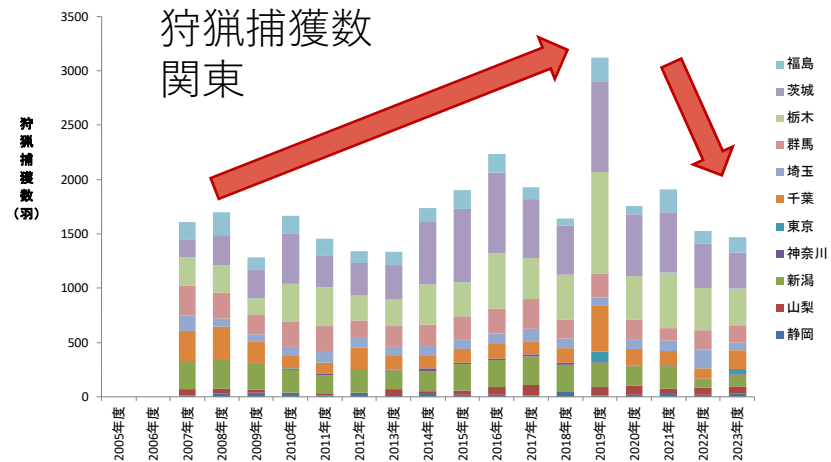
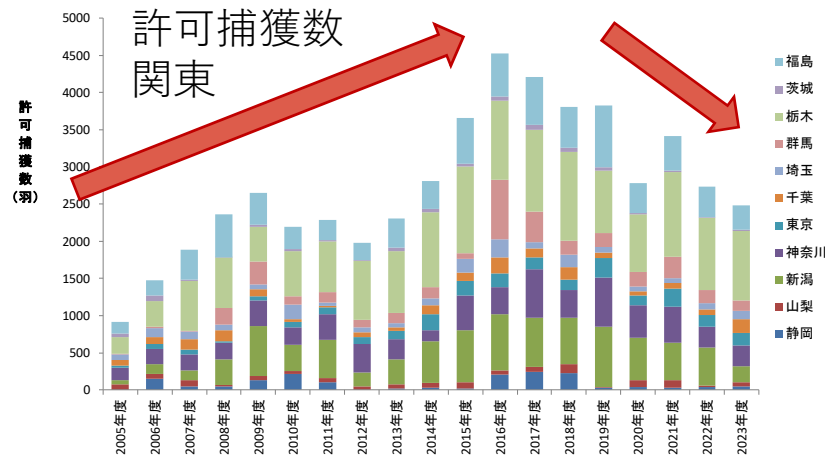
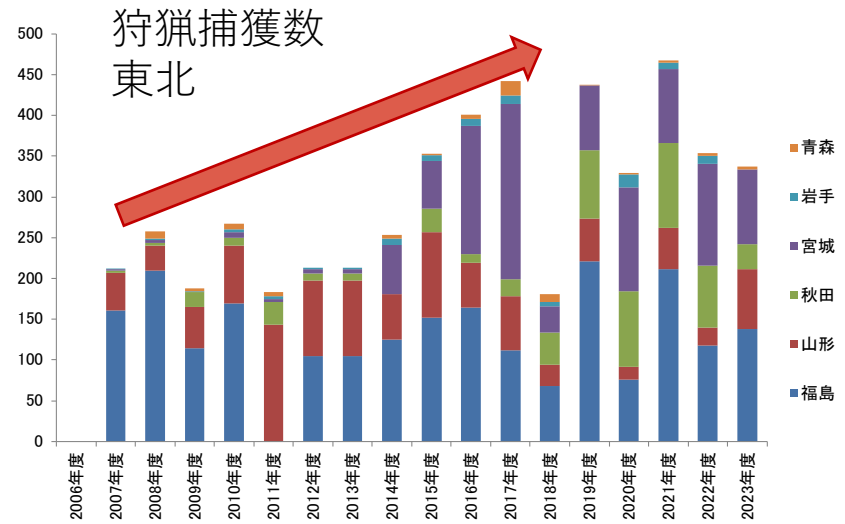
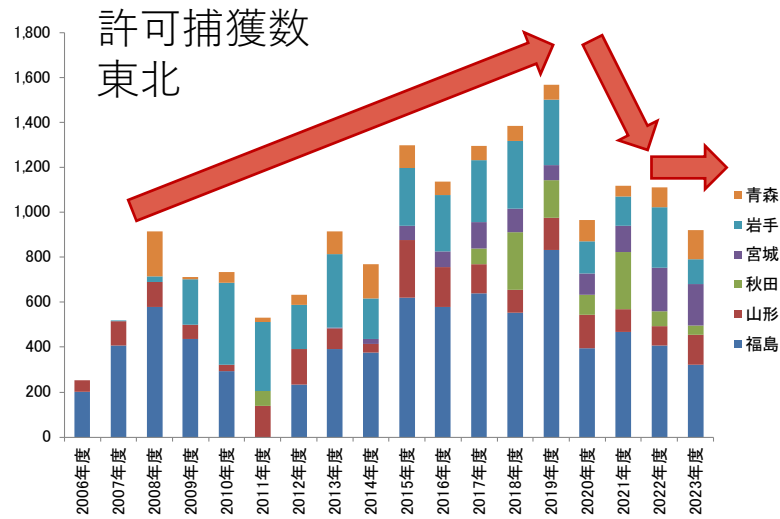
# カワウの捕獲の実施状況

- 関東から中国四国（都心部を除く）で捕獲数が多く、東北や九州では少ない。
- 中部近畿地方の許可捕獲と狩猟数は近年減少していたが、2020年から増加している。
- 九州地方の2023年分の狩猟捕獲は、まだ記録の提供を受けていない県が多い。



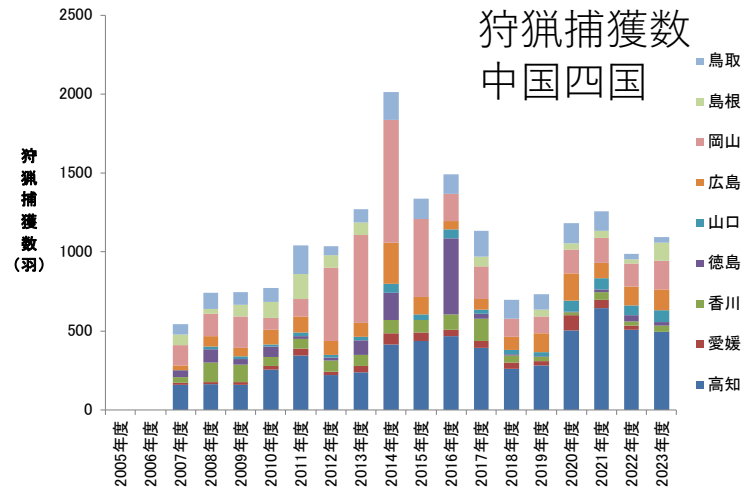
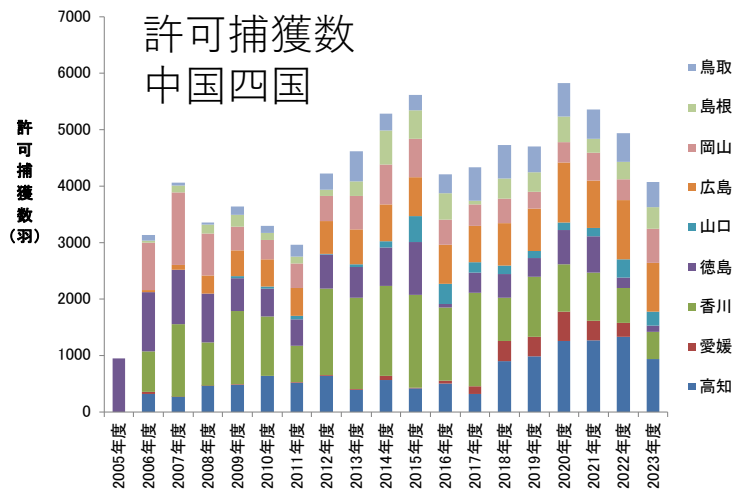
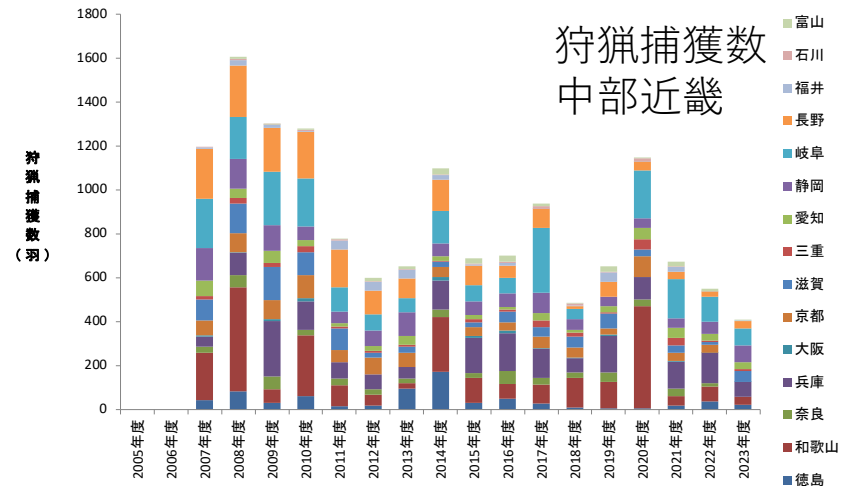
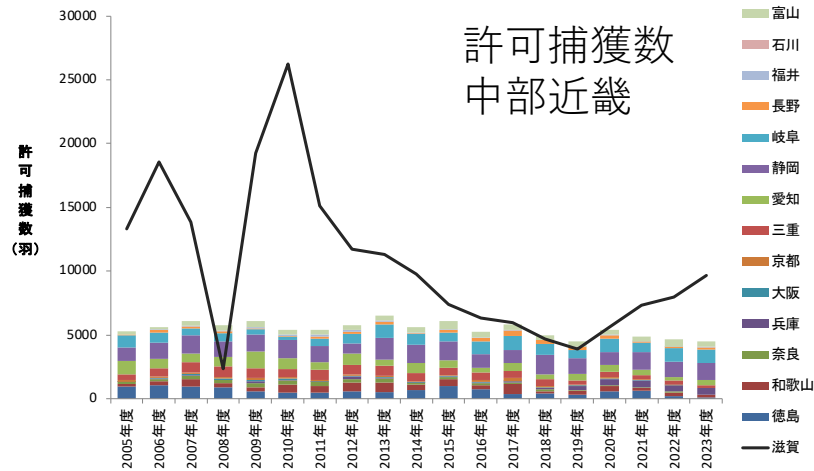
# カワウの捕獲の実施状況

- 全県の集計が終わっている東北と関東の捕獲数は2016～2019年度をピークに、その後は減少傾向。



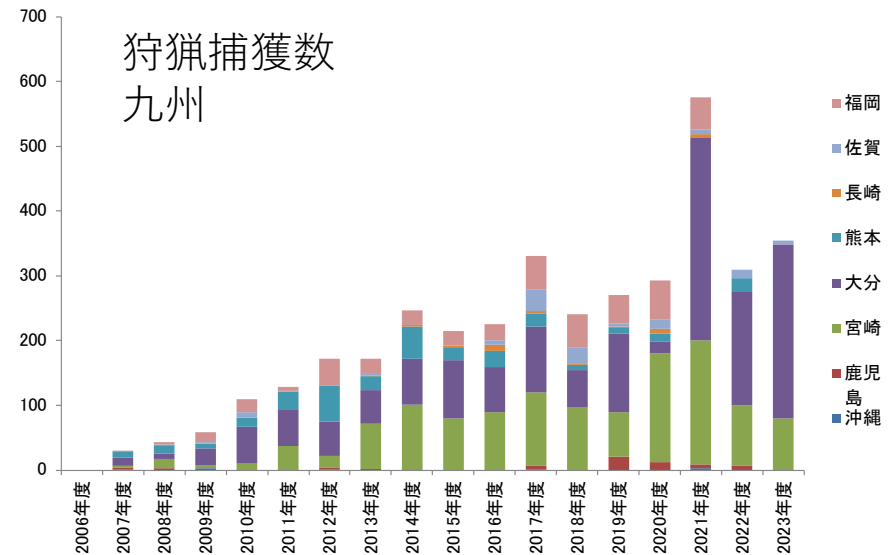
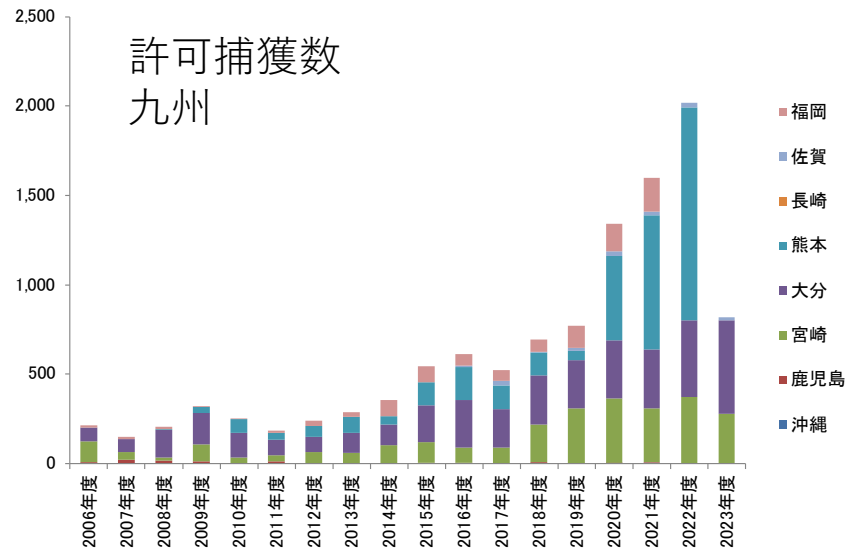
# カワウの捕獲の実施状況

- 中部近畿では滋賀県での許可捕獲数が圧倒的に多い。2011年以降減少していたが2020年から増加している。2023年の京都府、奈良県は集計中
- 中国四国では2020年以降は許可捕獲数が減少している。2023年の愛媛県は集計中



# カワウの捕獲の実施状況

- 九州では捕獲数が増加傾向にある。2023年度はまだ集計中の県も多い



## まとめ

- 湾や大きな湖はカワウの繁殖にとって重要な環境。
- 調査が実施できていない地域や季節があるため、全国の個体数や営巣数は不明。
- 未調査時期の個体数の補完を実施すると、近年、どの季節も長期的には個体数の増加傾向がみられる。
- 東北 : 2023年冬は前年より増加したが、その他の季節は横ばいまたは減少  
関東 : 2023年冬は前年より減少、その他の季節は増加  
中部近畿 : 2023年冬は横ばい、その他の季節は前年より減少  
中国四国 : 中国地方は前年より減少、四国地方は前年より増加
- 営巣数については、地域によって増加している地域と減少している地域があった。
- 捕獲個体数は増加から減少に転じていたが、近年は中部近畿などで再び増加している。東北、関東では減少している。



全国の状況は、長期的には個体数が増加している傾向が続くものの、最新の個体数はどの季節も前年と比べて減少していた。営巣数は昨年と比べて大きな変化はないが、捕獲数は滋賀県などで増加している。